

11. 芸術専門学群

専門基礎科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YAA1011	美術史学概論	1	1.0	1	春AB	火1	6B203	長田 年弘, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術史学の目的、対象、方法論の基礎について、コース担当教員各々の専門分野に応じて具体的事例を挙げながら講述する。	美術史学方法論1からの科目名変更
YAB1011	芸術支援学概論	1	1.0	1	春AB	金3	5C317	石崎 和宏, 直江 俊雄, 大久保 範子	現代社会における芸術活動の環境形成を支援するための理論と方法について、基礎的な知識を学ぶ。	
YAC1011	洋画概論	1	1.0	1	春AB	火1	5C308	星 美加	絵画のもつ意義・特質・その他全般について、現代絵画を軸として講述しながら、絵画として成り立つまでの基本的な諸要素を分析する。更に、明治以降の日本洋画の展開について、今日に至るまでの経過と問題点を提起する。	
YAC1012	素描基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	木5,6	5C109	内藤 定壽	静物をモチーフとした素描(木炭または鉛筆)により、基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。各課題の終了後、テーマのチェック及び講評を行う。	
YAC1112	油彩画基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	火5,6	5C303	星 美加	油彩画の制作に取り組み、その表現効果に対する理解を深め、素材に対する基本的知識・技能を養う。	
YAC1122	油彩画基礎演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	5C303	仏山 輝美	油彩画の制作に取り組み、その表現効果に対する理解を深め、素材に対する基本的知識・技能を養う。	
YAD1011	版画概論	1	1.0	1	春AB	金3	5C302	田島 直樹	版画を理解する上で重要な技法についての概説。版画の基本的4版種について、その発生、原理、制作手順、作品例について解説する。	
YAD1012	版画基礎演習	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	6A105, 工房 C204	田島 直樹	ふたつの異なる版種の版画制作を通して、版表現の幅広さを体感してもらふ。本授業では、エッチング(腐食銅版画)とスクリーンプリントの作品制作を行なう。	
YAE1011	日本画概論	1	1.0	1	秋AB	火1	5C406	太田 圭, 程塚 敏明	絵画の中でジャンル分けされる「日本画」とは何か。その基本的意味及び特徴等について日本絵画史をたどりながら、技法・材料・概念の変遷を考察し、現代の日本画に対する理解を深める。(スライド・ビデオ使用)	
YAE1022	素描基礎演習2	2	2.0	1・2	秋AB	木5,6	5C109	太田 圭, 山本 浩之	静物をモチーフとした素描(木炭または鉛筆)により、基礎的な表現力と創造的な感覚を養う。各課題の終了後、テーマのチェック及び講評を行う。	
YAE1112	日本画基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	火5,6	アート&デザイン実習室1	程塚 敏明	自分の手足、自画像の彩色写生を行うことにより、日本画表現に必要な基礎的描写力を養う。	人数制限あり
YAE1122	日本画基礎演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	アート&デザイン実習室1	程塚 敏明	モチーフ(林檎)の細密写生を基に、水干絵具による日本画制作を行う。日本画材料に対する基礎的知識・技能を養う。	人数制限あり
YAF1011	彫塑概論	1	1.0	1	秋AB	火1	5C406	宮坂 慎司	彫塑の意義、特質その他彫塑全般について専門的立場から、その概要を理論的に解明する。意義については語義から説き、造形的具体的な面からの解明を加え、その造形性・造形要素等に触れ、彫塑に対する認識を深める。1年生を主たる対象とするが、理由があれば他の学年に及ぶものも良い。	
YAF1012	彫塑基礎演習1	2	2.0	1・2	春AB	火5,6	5C112	宮坂 慎司, 大原 央聡	人物モデルを使用し塑造による頭像を制作する。	人数制限あり
YAF1022	彫塑基礎演習2	2	2.0	1・2	春AB	木5,6	5C112	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造による模刻を行い、立体に対する観察力、認識力を深め基礎的な立体造形力を養う。	人数制限あり
YAF1032	彫塑基礎演習3	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	5C112	宮坂 慎司, 大原 央聡	塑造による小品制作を通して立体に対する観察力、認識力を深め基礎的な立体造形力を養う。また粘土原形から石膏に移しかえる石膏型取り技法についても習得する。	人数制限あり
YAG1011	書概論	1	1.0	1	春AB	金6	5C317	菅野 智明	書の意義や芸術性、中日書道の歴史を概説し、表現・鑑賞など学書の範囲や特性についても講述する。	
YAH1011	工芸概論	1	1.0	1	秋AB	木4	5C407	齋藤 敏寿	人類がモノを創造してきた歴史的背景からの洞察を加えながら、工芸(craft)の特性、意匠、機能、材料等の基礎的な成り立ちについて陶磁を中心に概説する。	
YAH1012	工芸基礎演習(ガラス)	2	2.0	1・2	秋AB	木5,6	工房 C102	鄭 然暲	市販されているガラスを利用して加工を行い、ガラス素材について理解する。	人数制限あり
YAH1022	工芸基礎演習(陶磁)	2	2.0	1・2	秋AB	火5,6	5C111	齋藤 敏寿	土が陶に変化することから成り立つ造形の可能性を、素材の発見から熱による物質の変容を体感する演習を行う。	人数制限あり
YAH1032	工芸基礎演習(木工)	2	2.0	1・2	秋AB	木5,6	工房 C113	宮原 克人	箱型椅子の制作を通して木材加工の基礎を学ぶ。	人数制限あり
YAJ1011	総合造形概論	1	1.0	1	春AB	火1	5C317	國安 孝昌	総合造形入門講座。スライド等用いながら、その概要を講義する。	
YAJ1012	デジタル写真基礎演習	2	1.0	1 - 4	春A	火5,6	6A208	村上 史明	デジタル一眼カメラを使用し、ライティングを含めた写真の撮影技法を学ぶ。Photoshopなどを使用した画像加工技術と、インクジェットプリンタによる出力技術の習得も併せて行う。	デジタル一眼カメラを所有していること(購入機材については初回のガイダンスで説明する)
YAJ1022	立体加工基礎演習	2	2.0	1・2	春AB	木5,6	6B101	小野 裕子	立体加工の諸技法の内「シリコーンゴム・樹脂」をとり上げ、その素材の特質などを作品制作を通して理解しながら、造形感覚とスキルを養う。	人数制限あり(25名) 初日から参加必須
YAK1011	構成概論	1	1.0	1	春AB	木4	5C316	山本 早里	構成の成立した背景と発展及び現代のアートやデザインとの関わりを造形の諸要素や秩序、表現性から捉え構成学を概説する。	
YAL1011	ビジュアルデザイン概論	1	1.0	1	秋AB	火1	5C213	田中 佐代子	タイポグラフィ、エディトリアルデザイン、広告デザインなど、現代のビジュアルデザインに関する基本的な知識を、様々な事例を紹介しながらわかりやすく講述する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YAL1012	グラフィックツール基礎演習	2	1.0	1・2	春C	木5,6	学術情報メディアセンター B205, 学術情報メディアセンター B206	原 忠信	Adobe Creative Suiteの使用方法を4つの制作課題を通じて学ぶ。	芸術専門学群の学生に限る
YAN1011	情報・プロダクトデザイン概論	1	1.0	1	春AB	水1	5C507	山中 敏正	デザインを人間性の源に存在するデザインマインドから生じるものと捉え、デザインの概念、適用範囲、経済社会との関係、について概説する。特に、情報デザインの観点から、コミュニケーションや道具やシステムの操作、また、製造物の設計や製造物を通じたデザイナーと社会の関わりについて、デザインの様々な事例を取り上げ、文化的側面と技術的側面から、その概念と今日的課題についても講述する。	
YAN1012	レンダリング基礎演習	2	1.0	1	春C	木5,6	5C206	山田 博之	スケッチ、作図の基本テクニックを体得し、魅力的なプレゼンテーション表現についての演習を行う。	
YAP1011	環境デザイン概論	1	1.0	1	春AB	金3	5C406	野中 勝利, 渡 和由	人間を取り巻く生活空間を包括的に対象とする環境デザインについて、その成り立ち、対象、範囲、背景、設計、計画の方法などについて総合的に講述する。	
YAP1012	プレゼンテーション基礎演習	2	1.0	1	春A	木5,6	5C203	渡 和由	デザインの意図を効果的に表現するための技法について学習する。屋内外空間を対象として住環境の観察力や理解力と表現力を養い、スケッチ・透視図・平面図・配置図・立面図・立体図などの作図技法を習得する。	
YAQ1011	建築デザイン概論	1	1.0	1	秋AB	金3	5C407	花里 俊廣	建築デザインに関する基礎的な理解を促すために、様々な空間を具体的に取り上げ、人々による、それぞれの空間の使い方の特徴について学ぶ。	
YAQ1012	建築製図基礎演習	2	1.0	1	秋C	火5,6	5C206	貝島 桃代, 加藤 研	名作住宅の平面図、断面図、立面図のトレース図面、模型を制作する。	
YAX1011	芸術キャリア教育	1	1.0	2・3	通年	随時		程塚 敏明	2020年度以降開講。	
YAX1111	芸術学概論-1	1	1.0	1	春AB	木3	5C316	寺門 臨太郎	芸術を学ぶ素地を形成するための基礎的な芸術理論について概説する。	2019年度限り。
YAX1121	芸術学概論-2	1	1.0	1	秋AB	木3	5C416	長田 年弘	芸術を学ぶ素地を形成するための基礎的な芸術理論について概説する。	2019年度限り。
YAX1601	世界遺産学入門	1	1.0	2	春AB	火2	5C216	松井 敏也	世界遺産のしくみ、考え方について解説するとともに、国内外の具体的な事例を紹介する。	
YAX1801	芸術材料論	1	1.0	1 - 3	秋C	木2集中	5C407	松井 敏也	芸術、美術に用いられる材料について、その色や形、物性を理解するために必要な自然科学の基礎を元素の種類、構造などミクロな視点から解説し、材料科学リテラシーを高め、理解を深める。材料の歴史的変遷についても概説する。	2019年度限り。
YAX2011	アート&デザイン入門	1	1.0	1・2	春B	月1,2	5C216	上浦 佑太	造形表現および理論研究における各専門領域から、アートとデザインの世界について講述する。	専門導入科目(事前登録対象)
YAX2021	芸術と文化	1	1.0	1・2	春C	月1,2	5C216	程塚 敏明	芸術における歴史・理論研究、創作活動を実践的に行う専門領域の視点から、文化としての役割について講述する。	専門導入科目(事前登録対象)
YAX2031	芸術と社会	1	1.0	1・2	秋A	月1,2	5C506	橋本 剛, 林 みちこ, 直江 俊雄, 山田 博之, 加藤 研, 渡 和由, 山本 早里, 田中 佐代子, 原 忠信	芸術における社会的役割について、教育・デザインを通じての多様な活動と可能性について講述する。	専門導入科目(事前登録対象)
YAX3112	英語基礎演習A-1	2	0.5	2 - 4	春AB	月3	5C317	パニアニ マフシド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English. 英語で授業。
YAX3122	英語基礎演習A-2	2	0.5	2 - 4	秋AB	月3	5C317	パニアニ マフシド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English. 英語で授業。
YAX3212	英語基礎演習B-1	2	0.5	2 - 4	春AB	水3	5C317	パニアニ マフシド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English. 英語で授業。
YAX3222	英語基礎演習B-2	2	0.5	2 - 4	秋AB	火3	5C317	パニアニ マフシド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English. 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YAX3232	英語基礎演習C-1	2	0.5	2-4	春AB	木6	5C317	バニアニ マフシド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English. 英語で授業。
YAX3242	英語基礎演習C-2	2	0.5	2-4	秋AB	木6	5C317	バニアニ マフシド	This course will provide students with opportunities to practice individual and group speech deliveries, as well as challenge their creativity through innovative projects.	英語で発表する能力を育成する。This class will be held in English. 英語で授業。
YAZ1211	美術史概説A-1	1	1.0	1	春AB	火2	5C407	長田 年弘	古代から初期キリスト教時代にいたる西洋美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦奇数年度開講。
YAZ1221	美術史概説A-2	1	1.0	1					中世から近世にかけての西洋美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YAZ1311	美術史概説B-1	1	1.0	1	秋AB	火2	5C216	水野 裕史	飛鳥時代から江戸時代にいたる日本美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦奇数年度開講。
YAZ1321	美術史概説B-2	1	1.0	1					インドおよび中国の仏教美術史と飛鳥時代から奈良時代にいたる日本美術史における様式の変遷と基礎的な概念を概説する。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YAZ1411	デザイン史概説A	1	1.0	1	春AB	火2	5C317	山田 協太	建築を軸としながら、情報、プロダクト、ビジュアルにかかわるデザインの歴史を概説する。	
YAZ1421	デザイン史概説B	1	1.0	1	秋AB	火2	5C416	山田 協太	建築を軸としながら、情報、プロダクト、ビジュアルにかかわるデザインの歴史を概説する。	

専門科目(美術史領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y111001	美術史研究	1	2.0	4	通年	随時		長田 年弘, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または、集団による論文指導。卒業論文中間報告会(6,11月)における発表を含む。	芸術学専攻美術史コースの学生に限る。
YBA0231	美術史特講A-1	1	1.0	2-3	春AB	火4	6B203	水野 裕史	日本美術史上の具体的作例について多面的に講述する。	美術史特講A-I-1からの科目名変更 西暦奇数年度開講。
YBA0241	美術史特講A-2	1	1.0	2-3	秋AB	火4	6B203	水野 裕史	日本美術史上の具体的作例について多面的に講述する。	美術史特講A-I-2からの科目名変更 西暦偶数年度開講。
YBA0251	美術史特講B-1	1	1.0	2-3					近・現代美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術論特講-1からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
YBA0261	美術史特講B-2	1	1.0	2-3					近・現代美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術論特講-2からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
YBA0331	美術史特講C-1	1	1.0	2-3	春AB	木4	6B203	寺門 臨太郎	西洋近世・近代美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術史特講B-I-1からの科目名変更 西暦奇数年度開講。
YBA0341	美術史特講C-2	1	1.0	2-3	秋AB	木4	6B203	寺門 臨太郎	西洋近世・近代美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術史特講B-I-2からの科目名変更 西暦偶数年度開講。
YBA0351	美術史特講D-1	1	1.0	2-3					西洋古代美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術史特講B-II-1からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
YBA0361	美術史特講D-2	1	1.0	2-3					西洋古代美術史に関する特定のテーマについての講述。	美術史特講B-II-2からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
YBA0371	アート展示論	1	1.0	2-3	春AB	月5	6B203	寺門 臨太郎	展示に関する美術史的視点による講述と、実践的展示の理論と可能性についての考察。	西暦奇数年度開講。
YBA0381	アート・テキスト論	1	1.0	2-3					視覚芸術を言語化するという美術史学の基本をふまえた、アートと言葉に関する特定課題の考察。	西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
YBA0512	美術史演習A-1	2	2.0	2-3	春AB 春C	火5 火4,5	6B203	林 みちこ	近・現代美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習A-I-1からの科目名変更。 西暦奇数年度開講。
YBA0522	美術史演習A-2	2	2.0	2-3	秋AB 秋C	火5 火4,5	6B203	林 みちこ	近・現代美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習A-I-2からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。
YBA0532	美術史演習B-1	2	2.0	2-3					日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習A-II-1からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
YBA0542	美術史演習B-2	2	2.0	2-3					日本美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習A-II-2からの科目名変更。 西暦偶数年度開講。 2019年度開講せず。
YBA0632	美術史演習C-1	2	2.0	2-3	春AB 春C	木5 木4,5	6B203	長田 年弘	西洋古代美術史に関する文献講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習A-II-2からの科目名変更。 西暦奇数年度開講。
YBA0642	美術史演習C-2	2	2.0	2-3	秋AB 秋C	木5 木4,5	6B203	長田 年弘	西洋古代美術史に関する文献講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習B-I-1からの科目名変更。 西暦奇数年度開講。
YBA0652	美術史演習D-1	2	2.0	2-3					西洋近世・近代美術史に関する文献の講読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習B-II-1からの科目名変更。 2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBA0662	美術史演習D-2	2	2.0	2・3					西洋近世・近代美術史に関する文献の購読および関連テーマについての個別研究発表。	美術史演習B-11-2からの科目名変更。2019年度開講せず。
YBA0672	アート展示論演習	2	2.0	2・3	春C	月5,6 集中	6B203	寺門 臨太郎	所与の空間における配置や具体的設置方法、照明等、展示にかかわる総合的な演習。オブジェクト・ハンドリングに関する実践的指導と見学演習を含む。YBA0371「アート展示論」を履修していることが望ましい。	西暦奇数年度開講。
YBA0682	アート・テキスト論演習	2	2.0	2・3					視覚芸術の言語化について、展覧会カタログのテキスト執筆や制作者による自作の叙述等、各自の課題に応じた実践的演習。YBA0381「アート・テキスト論」を履修していることが望ましい。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
YBA0734	美術史文献学-1	4	2.0	2・3					美術史研究を進めるうえで求められる外国語による文献の実践的な扱い方に関する講述と演習。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
YBA0744	美術史文献学-2	4	2.0	2・3	秋AB 秋C	月5 月5,6	6B203	水野 裕史	美術史研究を進めるうえで求められる古語ないし漢語による文献の実践的な扱い方に関する講述と演習。	西暦奇数年度開講。
YBA0932	学外演習I(美術史)	2	2.0	2	秋C	集中		長田 年弘, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術作品や歴史的建築物などを実地において観察し、美術史の調査・研究の基本的な方法を演習する。	
YBA0942	学外演習II(美術史)	2	2.0	3	秋C	集中		長田 年弘, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術作品や歴史的建築物などを実地において観察し、美術史の調査・研究の基本的な方法を演習する。	
YBA9017	美術史領域研究I	7	1.0	2					美術史領域の論文作成を視野に入れた年次ごとの学習計画についてのガイダンスと演習指導。美術史領域特別演習Iの「卒業研究計画報告会」、美術史領域特別演習IIの「第2回卒業論文中間報告会」等への聴講参加。	2019年度開講せず。
YBA9027	美術史領域研究II	7	1.0	3					美術史領域の論文作成を視野に入れた年次ごとの学習計画についてのガイダンスと演習指導。美術史領域特別演習IIの「第1回卒業論文中間報告会」等への聴講参加。	2019年度開講せず。
YBA9037	美術史領域特別演習I	7	1.0	3					美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または集団による研究指導。卒業研究計画報告会(11月)における発表。	美術史領域の学生に限る。2019年度開講せず。
YBA9047	美術史領域特別演習II	7	1.0	4					美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または集団による論文指導。第1回卒業論文中間報告会(6月)における発表。	美術史領域の学生に限る。2019年度開講せず。
YBA9057	美術史領域特別演習III	7	1.0	4					美術史に関する各自が設定したテーマによる個別または集団による論文指導。第2回卒業論文中間報告会(11月)における発表。	美術史領域の学生に限る。2019年度開講せず。
YBA9908	卒業研究(美術史領域)	8	6.0	4	通年	随時		長田 年弘, 寺門 臨太郎, 林 みちこ, 水野 裕史	美術史に関する卒業論文。	美術史領域の学生に限る。

専門科目(芸術支援領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y121002	芸術支援学研究	2	2.0	4	通年	随時		石崎 和宏, 直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援学に関して各自が設定したテーマによる個別または集団による論文・実践指導。	
YBB0211	芸術支援学IA-1	1	1.0	2・3	春AB	木1		大久保 範子	美術館・市民ギャラリー・地域での美術展・アートプロジェクトの企画運営について講述する。芸術支援の観点から美術展・アートプロジェクトを分析し、芸術活動の活性化を研究する。	西暦偶数年度開講
YBB0221	芸術支援学IA-2	1	1.0	2・3					美術館・市民ギャラリー・地域での美術展・アートプロジェクトの企画運営について講述する。芸術支援の観点から美術展・アートプロジェクトを分析し、芸術活動の活性化を研究する。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
YBB0311	芸術支援学IB-1	1	1.0	2・3					美術館や学校において芸術表現を支援するツールの広がりを見直し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
YBB0321	芸術支援学IB-2	1	1.0	2・3					美術館や学校において芸術表現を支援するツールの広がりを見直し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
YBB0411	芸術支援学IC-1	1	1.0	2・3	春AB	水1	5C307	直江 俊雄	学校教育・美術館教育・生涯学習などの様々な環境における芸術学習を支援するプログラムを立案・実行するための理論と方法を、主に講義を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。
YBB0421	芸術支援学IC-2	1	1.0	2・3	秋AB	水1	5C307	直江 俊雄	学校教育・美術館教育・生涯学習などの様々な環境における芸術学習を支援するプログラムを立案・実行するための理論と方法を、主に講義と演習を通して学ぶ。	西暦奇数年度開講。
YBB0502	学外演習I(芸術支援学)	2	1.5	1・2	通年	集中		石崎 和宏, 直江 俊雄, 大久保 範子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	
YBB0611	芸術支援学IIA-1	1	1.0	2・3	春AB	木1	5C317	大久保 範子	美術館の三大機能である調査・研究、収集・保存、展示・教育の実務について講述する。美術館事業の活性化を研究する。	西暦奇数年度開講。
YBB0621	芸術支援学IIA-2	1	1.0	2・3	秋AB	木1	5C317	大久保 範子	美術館の三大機能である調査・研究、収集・保存、展示・教育の実務について講述する。美術館事業の活性化を研究する。	西暦奇数年度開講。
YBB0711	芸術支援学IIB-1	1	1.0	2・3	春AB	木3	5C308	石崎 和宏	美術館や学校において芸術鑑賞を支援するツールの広がりを見直し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦奇数年度開講。
YBB0721	芸術支援学IIB-2	1	1.0	2・3	秋AB	木3	5C308	石崎 和宏	美術館や学校において芸術鑑賞を支援するツールの広がりを見直し、それらの目的や観点、方法を考察して試作支援ツールを開発する。	西暦奇数年度開講。
YBB0811	芸術支援学IIC-1	1	1.0	2・3					芸術体験を言葉で伝えよう活動について学び、制作、研究、教育等における芸術支援の基礎となる能力を養う。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。
YBB0821	芸術支援学IIC-2	1	1.0	2・3					芸術体験を言葉で伝えよう活動について学び、制作、研究、教育等における芸術支援の基礎となる能力を養う。	西暦偶数年度開講。2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBB0832	芸術支援学演習A-I	2	1.0	1・2	通年	随時		直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
YBB0842	芸術支援学演習A-II	2	1.0	2・3	通年	随時		直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
YBB0852	芸術支援学演習B-I	2	1.0	1・2	通年	随時		直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
YBB0862	芸術支援学演習B-II	2	1.0	2・3	通年	随時		直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
YBB0872	芸術支援学演習C-I	2	1.0	1・2	通年	随時		直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
YBB0882	芸術支援学演習C-II	2	1.0	2・3	通年	随時		直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
YBB0902	学外演習II(芸術支援学)	2	1.5	2・3	通年	集中		石崎 和宏, 直江 俊雄, 大久保 範子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	
YBB1112	芸術支援学演習A-III	2	1.0	3・4	通年	随時		直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
YBB1122	芸術支援学演習B-III	2	1.0	3・4	通年	随時		直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関する演習を行う。	
YBB1132	芸術支援学演習C-III	2	1.0	3・4	通年	随時		直江 俊雄	芸術支援に関する演習を行う。	
YBB1142	美術館教育演習I	2	1.0	1・2	通年	随時		直江 俊雄	美術館教育に関する演習を行う。	
YBB1152	美術館教育演習II	2	1.0	2・3	通年	随時		直江 俊雄	美術館教育に関する演習を行う。	
YBB1162	美術館教育演習III	2	1.0	3・4	通年	随時		直江 俊雄	美術館教育に関する演習を行う。	
YBB1202	学外演習III(芸術支援学)	2	1.5	3・4	通年	集中		石崎 和宏, 直江 俊雄, 大久保 範子	現代社会における芸術支援の事例を実地に調査する。	
YBB9017	芸術支援領域研究I	7	1.0	2					ガイダンス、卒業論文中間発表会等への参加などを通して、芸術支援領域における研究に向けての指導を行う。	2019年度開講せず。
YBB9027	芸術支援領域研究II	7	1.0	3					ガイダンス、卒業論文中間発表会等への参加などを通して、芸術支援領域における研究に向けての指導を行う。	2019年度開講せず。
YBB9037	芸術支援領域特別演習I	7	1.0	3					芸術支援領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	芸術支援領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBB9047	芸術支援領域特別演習II	7	1.0	4					芸術支援領域における卒業研究の指導を行う。	芸術支援領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBB9057	芸術支援領域特別演習III	7	1.0	4					芸術支援領域における卒業研究の指導を行う。	芸術支援領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBB9908	卒業研究(芸術支援領域)	8	6.0	4	通年	随時		石崎 和宏, 直江 俊雄, 大久保 範子	芸術支援に関わる卒業論文の執筆。	

専門科目(洋画領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBC0201	洋画技法論	1	1.0	2	春AB	金1	5C404	内藤 定壽	油彩画、アクリル画を中心に、絵画表現材料・表現技法について詳しく説明し、西洋画の画面の構造について述べる。洋画コース必修。2年次に素描実習II, 油絵基礎技法演習, 油絵基礎実習と平行履修することが望ましい。	
YBC0301	洋画構想論	1	1.0	2・3	秋AB	金1	5C404	福満 正志郎	洋画の作品制作における構想について、総論及び各論を解説する。制作の基幹となる構想の意味を考え、その契機、様態、発想法における柔軟で幅広い構想力について具体的事例にふれながら解説する。洋画コース必修。3年次に、油絵実習I, 洋画技法演習と平行履修することが望ましい。	
YBC0402	油絵基礎技法演習	2	2.0	2	春AB	火2,3	5C114	福満 正志郎	各種描画用支持体の作製をととして、材料・技法に関する基本的知識・技能を養う。	
YBC0503	油絵基礎実習	3	2.0	2	春C秋ABC	火2,3	5C114	福満 正志郎	裸婦モデルの写生を通して、油絵の基礎的な表現技術の修得と、用具・材料の取扱いに対して理解を深めることを目標とする。	「油絵基礎技法演習」を履修済のこと
YBC0513	素描実習I-1	3	1.5	1	春ABC	金4,5	5C109, 5C303	仏山 輝美, 山本 浩之	石膏像及び人体を素描し、明暗によって美を表現する。物の見方、形態、構造、調子、動勢、空間と量、質感などの基本的な造形要素を把握し基礎的表現力を養う。存在そのものの感動的な美を感じ、意欲的に制作する。人体からは生命感のある表現を学ぶ。	
YBC0523	素描実習I-2	3	1.5	1	秋ABC	金4,5	5C109, 5C303	仏山 輝美, 山本 浩之	石膏像及び人体を素描し、明暗によって美を表現する。物の見方、形態、構造、調子、動勢、空間と量、質感などの基本的な造形要素を把握し基礎的表現力を養う。存在そのものの感動的な美を感じ、意欲的に制作する。人体からは生命感のある表現を学ぶ。	「素描実習I-1」を履修済みのこと。
YBC0602	洋画技法演習	2	4.0	3	春AB秋AB	金2,3	6B406	内藤 定壽	アクリル絵具と油絵具の併用による混合技法を通じて、下地、顔料とメディウム、ワニス等について理解する。西洋画の技法の原理について深く理解する。	「油絵基礎技法演習」、「洋画技法論」を履修済であること。 「油絵実習I-D-2」と並行履修すること。
YBC0633	素描実習II-A-1	3	1.5	2	春ABC	火4,5	5C109, 5C114	福満 正志郎, 星 美加	木炭又は鉛筆による石膏像及び人体の写生を主とする素描訓練を通して、観察力と造形感覚の向上をはかり、絵画表現の基礎技術の習得を目標とする。	
YBC0643	素描実習II-A-2	3	1.5	2	秋ABC	火4,5	5C109, 5C114	福満 正志郎	木炭又は鉛筆による石膏像及び人体の写生を主とする素描訓練を通して、観察力と造形感覚の向上をはかり、絵画表現の基礎技術の習得を目標とする。	素描実習II-A-1を履修済みのこと。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBC0653	素描実習II-B-1	3	1.5	2	春ABC	金5,6	5C109, 5C114	福満 正志郎, 星 美加	木炭または鉛筆による石膏像及び人体の素描写生を通して、造形の基本となる形態、明暗、量、質、空間についての観察力と造形感覚を養い、絵画表現の基礎技術を習得させる。洋画コース必修、原則として2年次履修。素描実習Iを履修の上で素描実習IIA、油絵基礎実習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	
YBC0663	素描実習II-B-2	3	1.5	2	秋ABC	金5,6	5C109, 5C114	星 美加	木炭または鉛筆による石膏像及び人体の素描写生を通して、造形の基本となる形態、明暗、量、質、空間についての観察力と造形感覚を養い、絵画表現の基礎技術を習得させる。洋画コース必修、原則として2年次履修。素描実習Iを履修の上で素描実習IIA、油絵基礎実習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	素描実習II-B-1を履修済みとのこと。
YBC0753	油絵実習I-A-1	3	1.5	3	春ABC	月2,3	6A409	星 美加	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。洋画コース必修、原則として3年次履修。素描実習II、油絵基礎技法演習、油絵基礎実習を履修の上で洋画構想論、洋画技法演習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」を履修済みであること
YBC0763	油絵実習I-A-2	3	1.5	3	秋ABC	月2,3	6A409	星 美加	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。洋画コース必修、原則として3年次履修。素描実習II、油絵基礎技法演習、油絵基礎実習を履修の上で洋画構想論、洋画技法演習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「油絵実習I-A-1」を履修済みであること
YBC0773	油絵実習I-B-1	3	1.5	3	春ABC	火4,5	6A409	内藤 定壽	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。洋画コース必修、原則として3年次履修。素描実習II、油絵基礎技法演習、油絵基礎実習を履修の上で洋画構想論、洋画技法演習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」を履修済みであること
YBC0783	油絵実習I-B-2	3	1.5	3	秋ABC	火4,5	6A409	内藤 定壽	人体モデルによる実習を通して、生命感に満ちた形態の追求やそれに伴う専門的技術の習得を図る。洋画コース必修、原則として3年次履修。素描実習II、油絵基礎技法演習、油絵基礎実習を履修の上で洋画構想論、洋画技法演習との平行履修が望ましい。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「油絵実習I-B-1」を履修済みであること
YBC0793	油絵実習I-C-1	3	1.5	3	春ABC	木4,5	6A409	仏山 輝美	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」を履修済みであること
YBC0853	油絵実習I-C-2	3	1.5	3	秋ABC	木4,5	6A409	仏山 輝美	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「油絵実習I-C-1」を履修済みであること
YBC0863	油絵実習I-D-1	3	1.5	3	春ABC	金4,5	6A409	福満 正志郎	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」を履修済みであること
YBC0873	油絵実習I-D-2	3	1.5	3	秋ABC	金4,5	6A409	福満 正志郎	人体モデルによる実習を通して、色彩の効果や、その調和について修練し、絵具、とき油などの使用に習熟する。また、油絵具の特性を生かして人体の肉感や肌の質感を表す描画力を養う。	「素描実習」4単位、「油絵基礎技法演習」、「油絵基礎実習」、「油絵実習I-D-1」を履修済みであること。「洋画技法演習」と並行履修すること。
YBC0903	洋画野外風景実習I	3	1.0	2	春A	集中		内藤 定壽, 福満 正志郎, 仏山 輝美, 星 美加	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、風景表現の実地指導を行う。	洋画コース対象
YBC0913	洋画野外風景実習II	3	1.0	3	春A	集中		内藤 定壽, 福満 正志郎, 仏山 輝美, 星 美加	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、野外風景実習のIの成果をさらに深めるための実地指導を行う。	洋画コース対象
YBC0923	洋画野外風景実習III	3	1.0	4	春A	集中		内藤 定壽, 福満 正志郎, 仏山 輝美, 星 美加	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、野外風景表現の実地指導を行う。	洋画コース対象
YBC0933	油絵実習II-A-1	3	1.5	4	春AB 春学期	月4,5 集中	6A410-2, 6A410-3	星 美加	人体モデル等による実習を通して、それぞれの感性を生かしながら、形態の追求や専門的技術の習熟を図り、自らの表現の方向を追求する。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」を履修済みであること
YBC0943	油絵実習II-A-2	3	1.5	4	春C秋A 通年	月4,5 集中	6A410-2, 6A410-3	星 美加	人体モデル等による実習を通して、それぞれの感性を生かしながら、形態の追求や専門的技術の習熟を図り、自らの表現の方向を追求する。課題毎に作品提出し、評価と講評を受けること。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」、「油絵実習II-A-1」を履修済みであること
YBC0953	油絵実習II-B-1	3	1.5	4	春AB 春学期	火2,3 集中	6A410-2, 6A410-3	内藤 定壽	人体モデル等による実習を通して、調子・空間・動勢等の画面に於ける動きを理解し制作する表現力を養う。自己の表現に適する素材や技法を模索し、独自で普遍性のある表現に達する糸口を見出す。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」を履修済みであること
YBC0963	油絵実習II-B-2	3	1.5	4	春C秋A 通年	火2,3 集中	6A410-2, 6A410-3	内藤 定壽	人体モデル等による実習を通して、調子・空間・動勢等の画面に於ける動きを理解し制作する表現力を養う。自己の表現に適する素材や技法を模索し、独自で普遍性のある表現に達する糸口を見出す。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」、「油絵実習II-B-1」を履修済みであること

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBC0973	油絵実習II-C-1	3	1.5	4	春AB 春学期	木2,3 集中	6A410-2, 6A410-3	仏山 輝美	人体の写生を通じて、主題であるモデルとそれをとり巻く情景をいかに絵画に表すかについて学ぶ。特に形態と色彩の連関に着目して画面全体の調和を構築する態度と技術を培う。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」を履修済みであること
YBC0983	油絵実習II-C-2	3	1.5	4	春C秋A 通年	木2,3 集中	6A410-2, 6A410-3	仏山 輝美	人体の写生を通じて、主題であるモデルとそれをとり巻く情景をいかに絵画に表すかについて学ぶ。特に形態と色彩の連関に着目して画面全体の調和を構築する態度と技術を培う。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」、「油絵実習II-C-1」を履修済みであること
YBC0993	油絵実習II-D-1	3	1.5	4	春AB 春学期	金2,3 集中	6A410-2, 6A410-3	福満 正志郎	人体モデルや各種のモチーフを基に油彩画等による制作実習を通して自らの表現の方向を見だし、想像力を高め、美的感覚と技法を洗練し、絵画的造形要素を表現の意図に沿って適切に用いる個性的な作品制作の能力を養う。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」を履修済みであること
YBC1003	油絵実習II-D-2	3	1.5	4	春C秋A 通年	金2,3 集中	6A410-2, 6A410-3	福満 正志郎	人体モデルや各種のモチーフを基に油彩画等による制作実習を通して自らの表現の方向を見だし、想像力を高め、美的感覚と技法を洗練し、絵画的造形要素を表現の意図に沿って適切に用いる個性的な作品制作の能力を養う。	「油絵実習I」、「洋画技法演習」、「油絵実習II-D-1」を履修済みであること
YBC9017	洋画領域研究I	7	1.0	2					ガイダンス・面談、授業及び実習室見学。展覧会(MC展、DC展)鑑賞	2019年度開講せず。
YBC9027	洋画領域研究II	7	1.0	3	春AB	随時		内藤 定壽, 仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加	ガイダンス・面談、自主制作及び講評。	
YBC9037	洋画領域特別演習I	7	1.0	3					ガイダンス・面談、自主制作及び講評、レポート。	洋画領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBC9047	洋画領域特別演習II	7	1.0	4					洋画領域における卒業研究の指導を行う。	洋画領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBC9057	洋画領域特別演習III	7	1.0	4					洋画領域における卒業研究の指導を行う。	洋画領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBC9908	卒業研究(洋画領域)	8	6.0	4	通年	随時		内藤 定壽, 仏山 輝美, 福満 正志郎, 星 美加	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	

専門科目(版画領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBD0813	版画基礎実習-1	3	1.5	2	春ABC	木2,3	6A105, 芸術C204	田島 直樹	版画表現の基礎的な技法を修得させると同時に、中等教育美術の「版画」に関わる教材研究ともなり得ることを期す。木版画とスクリーンプリント版画について実習を行う。	継続して「版画基礎実習-2」を履修可能な者のみ受講可。
YBD0823	版画基礎実習-2	3	1.5	2	秋ABC	木2,3	6A105, 芸術C204	田島 直樹	版画表現の基礎的な技法を修得させると同時に、中等教育美術の「版画」に関わる教材研究ともなり得ることを期す。銅版画とコラグラフについて実習を行う。	版画基礎実習-1を履修済みのこと。
YBD1202	リトグラフ演習	2	2.0	2・3					リトグラフのさまざまな技法を集中的に演習する。	「版画基礎実習」履修者のみ受講可 西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBD1323	版画実習A-1	3	1.5	3	春ABC	火2,3	6A105, 工房C204	田島 直樹	複数の版のかけ合わせによる版画制作。木版画の実習を行う。色の摺り重ねによって絵を作るため、そのメカニズムの理解が大切になる。	継続して「版画実習A-2」を履修可能な者のみ受講可。「版画基礎実習」を履修しておくことが望ましい。
YBD1333	版画実習A-2	3	1.5	3	秋AB	火2,3 集中	6A105, 芸術C204	田島 直樹	複数の版のかけ合わせによる版画制作。スクリーンプリントとリトグラフの実習を行う。色の摺り重ねによって絵を作るため、そのメカニズムの理解が大切になる。	「版画実習A-1」を履修済みのこと。
YBD1343	版画実習B-1	3	1.5	3	春ABC	水2,3	芸術C204	田島 直樹	銅版画の技法は他の版画に比較して、多岐にわたり奥深い。さまざまな銅版画の技法を学ぶことにより、技術の修得のみならず、技法によってイメージを触発され、新しい表現へと向かわしめることを期す。春学期はラインエッチングによる自画像及び、様々な技法の実験制作を行う。	継続して「版画実習B-2」を履修可能な者のみ受講可。「版画基礎実習」を履修しておくことが望ましい。
YBD1353	版画実習B-2	3	1.5	3	秋ABC	水2,3	芸術C204	田島 直樹	銅版画の技法は他の版画に比較して、多岐にわたり奥深い。さまざまな銅版画の技法を学ぶことにより、技術の修得のみならず、技法によってイメージを触発され、新しい表現へと向かわしめることを期す。秋学期は各自技法を選び、テーマを設定して自主制作するが、どちらかと言えば技法に触発された表現を期待したい。	「版画実習B-1」を履修済みのこと。
YBD1432	版画演習A	2	3.0	4	春ABC	木4,5	芸術C204	田島 直樹	銅版画の技法中、版に直接描くドライポイント技法と、時間と忍耐を要するメゾチント技法を演習する。	版画領域の学生に限る。
YBD1442	版画演習B	2	3.0	4	秋ABC	木4,5	芸術C204	田島 直樹	各自、版画技法のうちから、自分に合った技法を選び、テーマを設定する。制作のスケジュール表を作成、提出し、スケジュールに沿った作品を提出する。	版画演習Aを履修済みのこと。版画領域の学生に限る。
YBD1502	学外演習(版画)	2	1.0	3・4	通年	随時		田島 直樹	版画制作に必要な不可欠なプロセス・素材について、学外的美術館・博物館や紙漉き場等でのワークショップに参加し、実体験を通して学習する。また、学外において展覧会を開催し、作品の成果発表を行う。	「特別カリキュラム版画」対象
YBD1613	版画実習C-1	3	1.5	3・4	春ABC	金4,5	6A105, 芸術C204	田島 直樹	履修者の作品を収めた版画集を作成する。版画集としての形態やフォーマットに関するプレゼンテーション、函の作成や装丁の作業等を共同作業で行う。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。
YBD1623	版画実習C-2	3	1.5	3・4	秋ABC	金4,5	6A105, 芸術C204	田島 直樹	前学期に決定したフォーマットに従って、各履修者が自ら版種を選択し、20部前後の摺刷を行ったものをまとめて版画集を作る。	版画領域の学生に限る。 西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBD9017	版画領域研究I	7	1.0	2	春AB	随時	6A105, 芸術C204	田島 直樹	版画の基本的な版種や技法の原理、版種によって異なる表現効果について演習を通して学ぶ。	
YBD9027	版画領域研究II	7	1.0	3					版画の基本的な版種や技法の原理、版種によって異なる表現効果について演習を通して学ぶ。	2019年度開講せず。
YBD9037	版画領域特別演習I	7	1.0	3					版画の基本的な版種や技法の原理、版種によって異なる表現効果について演習を通して学ぶ。	版画領域の学生に限る2019年度開講せず。
YBD9047	版画領域特別演習II	7	1.0	4					版画領域における卒業研究の指導を行う。	版画領域の学生に限る2019年度開講せず。
YBD9057	版画領域特別演習III	7	1.0	4					版画領域における卒業研究の指導を行う。	版画領域の学生に限る2019年度開講せず。
YBD9908	卒業研究(版画領域)	8	6.0	4	通年	随時		田島 直樹	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	版画領域の学生に限る。

専門科目(日本画領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBE0201	日本画技法論	1	1.0	2	春AB	火1	アート&デザイン実習室1	山本 浩之	日本画制作における諸技法と材料について解説する。日本画コース必修。2年次に素描実習II, 日本画基礎実習と平行履修することが望ましい。	
YBE0312	日本画鑑賞研究	2	0.5	3	通年	随時		太田 圭	日本画における鑑賞の重要性を説き、古典から現代までの作品を鑑賞・分析する。	
YBE0402	日本画技法演習	2	4.0	3	春AB秋BC	金2,3	アート&デザイン実習室1	程塚 敏明, 山本 浩之	日本画は古来より、漆芸等の工芸分野で用いられる箔や砂子等と共通した技法を用いている。本授業では箔の平押しや砂子、各種鍍金技法(野毛等)、裏打ち技法、絹染技法等の演習を通して、日本画で使用する絵具をはじめとした各素材と技法の理解を深めるとともに、諸技法についての習熟を図る。この授業を履修するにあたっては、日本画基礎実習を履修済である事が望ましい。	「日本画基礎実習」を履修済であること。
YBE0523	日本画実習基礎II	3	1.5	2	通年	水3	6A311, アート&デザイン実習室1	太田 圭, 山本 浩之	種々のモチーフの写生をする事により、物の見方を追求すると共に、日本画の基礎となる色彩表現力を養う。各テーマ終了後、全教員によりテーマのチェックをし、講評を行う。	「日本画実習基礎I-1,2」を履修済であること。2019年度限り
YBE0563	日本画実習I-A-1	3	1.5	3	春ABC	月2,3	6B403	程塚 敏明	実習を通して、日本画における形態の追求を行い描写力を養う。各テーマ終了後、テーマのチェックと講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済の者を対象に開設し、日本画実習I-B・C・Dと密接な関連を持ちながら行うので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」を履修済であること。
YBE0573	日本画実習I-A-2	3	1.5	3	秋ABC	月2,3	6B403	程塚 敏明	実習を通して、日本画における形態の追求を行い描写力を養う。各テーマ終了後、テーマのチェックと講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済の者を対象に開設し、日本画実習I-B・C・Dと密接な関連を持ちながら行うので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」、「日本画実習I-A-1」を履修済であること。
YBE0583	日本画実習I-B-1	3	1.5	3	春ABC	火4,5	6B403	太田 圭	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図の追求を行い、画面構成力を養う。各テーマ終了後にチェックと講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済の者を対象に開設し、日本画実習I-A・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業も合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」を履修済みであること。
YBE0593	日本画実習I-B-2	3	1.5	3	秋ABC	火4,5	6B403	太田 圭	実習を通して日本画における空間表現ならびに構図の追求を行い、画面構成力を養う。各テーマ終了後にチェックと講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済の者を対象に開設し、日本画実習I-A・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業も合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」、「日本画実習I-B-1」を履修済みであること。
YBE0653	日本画実習I-C-1	3	1.5	3	春ABC	木4,5	6B403	山本 浩之	人体モデルのデッサンにより人体美の把握・プロポーション・動き・質量感の表現力を養う。またポーズの組合せによる構成力や自己の内部表現の訓練を50号より大作に徐々に移行させて行く。この授業は日本画基礎実習の履修者を対象に開設し、日本画実習I-A・B・Dと密接な関連を持ちながら行うので、合わせて履修する事が望ましい。	
YBE0663	日本画実習I-C-2	3	1.5	3	秋ABC	木4,5	6B403	山本 浩之	人体モデルのデッサンにより人体美の把握・プロポーション・動き・質量感の表現力を養う。またポーズの組合せによる構成力や自己の内部表現の訓練を50号より大作に徐々に移行させて行く。この授業は日本画基礎実習の履修者を対象に開設し、日本画実習I-A・B・Dと密接な関連を持ちながら行うので、合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」、「日本画実習I-C-1」を履修済であること。
YBE0673	日本画実習I-D-1	3	1.5	3	春ABC	金4,5	6B403	程塚 敏明	実習を通して、個々の表現意図に沿って用いる手段について学習し、各テーマ終了後、テーマのチェックをし講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済の者を対象に開設し、日本画実習I-A・B・Cと密接な関連を持ちながら行うので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画基礎実習1,2」を履修済であること。
YBE0683	日本画実習I-D-2	3	1.5	3	秋ABC	金4,5	6B403	程塚 敏明	実習を通して、個々の表現意図に沿って用いる手段について学習し、各テーマ終了後、テーマのチェックをし講評を行う。この授業は日本画基礎実習を履修済の者を対象に開設し、日本画実習I-A・B・Cと密接な関連を持ちながら行うので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画実習I-D-1」を履修済であること。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBE0693	日本画実習II-A-1	3	1.5	4	春ABC	月4,5	6B401	山本 浩之	実習を通して風景画を学習し、専門的技術の高度化を図る。各テーマ終了後、テーマのチェックをし講評を行う。この授業は日本画実習II-B・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画実習I」「日本画技法演習」を履修済であること。
YBE0703	日本画実習II-A-2	3	1.5	4	秋ABC	月4,5	6B401	山本 浩之	実習を通して風景画を学習し、専門的技術の高度化を図る。各テーマ終了後、テーマのチェックをし講評を行う。この授業は日本画実習II-B・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらも合わせて履修する事が望ましい。	「日本画実習II-A-1」を履修済であること。
YBE0753	日本画実習II-B-1	3	1.5	4	春AB 春C	火2,3	6B401	太田 圭, 程塚 敏明	実習を通して専門的技術の高度化を図り、人物画について学習する。各テーマ終了後にチェックの講評を行う。この授業は日本画実習II-A・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業を合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習I」「日本画技法演習」を履修済であること。
YBE0763	日本画実習II-B-2	3	1.5	4	秋A 秋BC	火2,3	6B401	太田 圭, 程塚 敏明	実習を通して専門的技術の高度化を図り、人物画について学習する。各テーマ終了後にチェックの講評を行う。この授業は日本画実習II-A・C・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業を合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習I」「日本画技法演習」「日本画実習II-B-1」を履修済みであること。
YBE0773	日本画実習II-C-1	3	1.0	4	春AB	木2,3	6B401	太田 圭	実習を通して専門的技術の高度化を図り、花鳥画について学習する。各テーマ終了後にチェックの講評を行う。この授業は日本画実習II-A・B・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業を合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習I」「日本画技法演習」を履修済みであること。
YBE0783	日本画実習II-C-2	3	1.0	4	春C秋A	木2,3	6B401	太田 圭	実習を通して専門的技術の高度化を図り、花鳥画について学習する。各テーマ終了後にチェックの講評を行う。この授業は日本画実習II-A・B・Dと密接な関連を持ちながら進行するので、それらの授業を合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習I」「日本画技法演習」「日本画実習II-C-1」を履修済みであること。
YBE0793	日本画実習II-D-1	3	1.0	4	春AB	金2,3	6B401	程塚 敏明	人体モデルのデッサンを通し自己内部の表現技法の習熟を図り、又日本画材料に対処し得る技術・知識の修得・大画面の制作方法等の指導を目的とする。この授業は日本画実習II-A・B・Cと密接な関連を持ちながら進行するので、それらも合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習I」「日本画技法演習」を履修済であること。
YBE0803	日本画実習II-D-2	3	1.0	4	春C秋A	金2,3	6B401	程塚 敏明	人体モデルのデッサンを通し自己内部の表現技法の習熟を図り、又日本画材料に対処し得る技術・知識の修得・大画面の制作方法等の指導を目的とする。この授業は日本画実習II-A・B・Cと密接な関連を持ちながら進行するので、それらも合わせて履修することが望ましい。	「日本画実習I」「日本画技法演習」「日本画実習II-D-1」を履修済であること。
YBE0813	野外風景実習I	3	1.5	2	春B	集中		太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、風景写真を行う。	日本画コース対象。
YBE0823	野外風景実習II	3	1.5	3	春B	集中		太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	学外実習として、約1週間、特定の写生地に宿泊して、風景表現の実習を行う。	日本画コース対象。「野外風景実習I」を履修済であること。
YBE1113	日本画基礎実習1	3	1.5	2	春ABC	火2,3	6A311, 6A408-1	太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	日本画材料を使用した実習を通し、基本的技法を習得すると共に表現力を養う。基本となる写生から岩絵具を用いる制作までを、4つの主題(植物・動物・風景・自画像)で学ぶ。	
YBE1123	日本画基礎実習2	3	1.5	2	秋ABC	火2,3	6A311, 6A408-1	太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	日本画材料を使用した実習を通し、基本的技法を習得すると共に表現力を養う。基本となる写生から岩絵具を用いる制作までを、4つの主題(植物・動物・風景・自画像)で学ぶ。	「日本画基礎実習1」を履修済みであること。
YBE9017	日本画領域研究I	7	1.0	2					日本画領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。	2019年度開講せず。
YBE9027	日本画領域研究II	7	1.0	3					日本画領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品鑑賞及び制作を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	2019年度開講せず。
YBE9037	日本画領域特別演習I	7	1.0	3					日本画領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品制作及び発表を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	日本画領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBE9047	日本画領域特別演習II	7	1.0	4					日本画領域における卒業研究の指導を行う。	日本画領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBE9057	日本画領域特別演習III	7	1.0	4					日本画領域における卒業研究の指導を行う。	日本画領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBE9908	卒業研究(日本画領域)	8	6.0	4	通年	随時		太田 圭, 程塚 敏明, 山本 浩之	専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	

専門科目(彫塑領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y221013	彫塑特別実習I	3	1.0	3	通年	随時		大原 央聡, 宮坂 慎司	彫塑領域における学習研究の成果を展示を通して総合的に検討する。	彫塑コースの学生に限る
Y221023	彫塑特別実習II	3	1.0	4	通年	随時		大原 央聡, 宮坂 慎司	彫塑領域における学習研究の成果を展示を通して総合的に検討する。	彫塑コースの学生に限る
YBF0214	彫塑論・演習I	4	1.0	2	春AB	金1 集中	5C302	大原 央聡, 宮坂 慎司	彫塑表現について、主として、素材論、技法論の立場から、その性質を解明する。また近現代における彫刻の動向についても学習し、塑造実習、鑄造実習、テラコッタ実習、に必要な事項についての理解、及び知識を身につける。	「彫塑概論」を履修していること
YBF0224	彫塑論・演習II	4	1.0	3	秋AB	金1	5C302	大原 央聡, 宮坂 慎司	彫塑表現について、主として、素材論、技法論の立場から、その性質を解明する。また近現代における彫刻の動向についても学習し、木彫実習・木彫制作に必要な事項についての理解、及び知識を身につける。	「彫塑論・演習I」を履修していること

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBF0453	塑造実習II-A-1	3	1.5	3	春ABC	月2,3	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して、量塊を決定する面、量塊の構築性や空間等、立体の成立に伴う造形要素について理解を深めると共に、併せて彫塑的立体把握の能力を更に養う。表現力にあっては塑造実習Iで培われたものをより高次なものへと発展させる。	「塑造実習I-A-1」および「彫刻実習I-A-2」を履修済みであること
YBF0463	塑造実習II-A-2	3	1.5	3	秋ABC	月2,3	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造による等身大全身像を制作する。立ちポーズや座りポーズの制作実習を通して、量塊を決定する面、量塊の構築性や空間等、立体の成立に伴う造形要素について理解を深めると共に、併せて彫塑的立体把握の能力を更に養う。表現力にあっては塑造実習Iで培われたものをより高次なものへと発展させる。	「塑造実習I-A-1」および「彫刻実習I-A-2」を履修済みであること
YBF0473	塑造実習II-B-1	3	1.5	3	春ABC	火4,5	5C113, 6A102, 6A103	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造実習Iで得た基礎的な形態把握力と表現力をもとに、人体全身像を対象として、更に高度な彫塑的立体把握の能力と表現力を養う。特に量の配置と全体の動勢、量感豊かな表現に重点をおいて学習する。	「塑造実習I-A-1」および「彫刻実習I-A-2」を履修済みであること
YBF0483	塑造実習II-B-2	3	1.5	3	秋ABC	火4,5	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造実習Iで得た基礎的な形態把握力と表現力をもとに、人体全身像を対象として、更に高度な彫塑的立体把握の能力と表現力を養う。特に量の配置と全体の動勢、量感豊かな表現に重点をおいて学習する。	「塑造実習I-A-1」および「彫刻実習I-A-2」を履修済みであること
YBF0493	塑造実習II-C-1	3	1.5	3	春ABC	水2,3	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	人体を表現対象とする人体全身塑造を通して、彫塑的立体把握の能力を養成すると共に、塑造実習Iで修得した表現能力をより高次なものへと発展させる。	「塑造実習I-A-1」および「彫刻実習I-A-2」を履修済みであること
YBF0503	塑造実習II-C-2	3	1.5	3	秋ABC	水2,3	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	人体を表現対象とする人体全身塑造を通して、彫塑的立体把握の能力を養成すると共に、塑造実習Iで修得した表現能力をより高次なものへと発展させる。	「塑造実習I-A-1」および「彫刻実習I-A-2」を履修済みであること
YBF0553	塑造実習II-D-1	3	1.5	3	春ABC	金4,5	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	人体全身像を表現対象として、彫塑的立体把握の能力を養うと共に、塑造実習Iで得た表現能力をより高次なものへと導く。	「塑造実習I-A-1」および「彫刻実習I-A-2」を履修済みであること
YBF0563	塑造実習II-D-2	3	1.5	3	秋ABC	金4,5	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	人体全身像を表現対象として、彫塑的立体把握の能力を養うと共に、塑造実習Iで得た表現能力をより高次なものへと導く。	「塑造実習I-A-1」および「彫刻実習I-A-2」を履修済みであること
YBF0573	塑造実習III-A	3	1.5	4	春ABC	月4,5	5C113, 6A102, 6A103	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造実習IIと同様人体全身像を表現対象として等身大作品を制作する。今迄修得した表現力を原点として、量塊及びその構築性、フォルム等、より高度な彫塑における諸能力、諸感覚力の伸展を制作を通して総合的に図る。	「塑造実習II-A, B, C, D」を履修済みであること
YBF0583	塑造実習III-B	3	1.5	4	春ABC	火2,3	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造実習IIと同様人体全身像を表現対象として等身大作品を制作する。今迄修得した表現力を原点として、量塊及びその構築性、フォルム等、より高度な彫塑における諸能力、諸感覚力の伸展を制作を通して総合的に図る。	「塑造実習II-A, B, C, D」を履修済みであること
YBF0593	塑造実習III-C	3	1.5	4	春ABC	木2,3	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造実習IIで修得した表現力を原点として、人体全身像制作を通してより高度な彫塑における諸能力、諸感覚力の伸展を図る。	「塑造実習II-A, B, C, D」を履修済みであること
YBF0633	塑造実習III-D	3	1.5	4	春ABC	金2,3	6A102, 6A103, 5C113	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造実習IIで修得した表現力を原点として、人体全身像制作を通してより高度な彫塑における諸能力、諸感覚力の伸展を図る。	「塑造実習II-A, B, C, D」を履修済みであること
YBF0643	彫刻基礎実習	3	1.5	2	秋ABC	木5,6	6A114, 6A115	大原 央聡	木材を用いて小品の制作を行う。木彫用具の基本的な使用方法や木彫表現の基礎を体得する。	
YBF0733	彫刻実習I-A-1	3	1.5	3	春ABC	木2,3	6A114, 6A115	大原 央聡	手彫りを主体として木彫の基礎的な感覚と技術を習練する。等身大の胸像を樟材を使って制作し、木彫表現の可能性を追求する。	「彫刻基礎実習」を履修していることが望ましい
YBF0743	彫刻実習I-A-2	3	1.5	3	秋ABC	木2,3	6A114, 6A115	大原 央聡	手彫りを主体として木彫の基礎的な感覚と技術を習練する。彫刻実習I-A-1での制作を基に、さらに木彫表現の可能性を追求する。	「彫刻実習I-A-1」を履修していること
YBF0753	彫刻実習I-B-1	3	1.5	3	春ABC	金2,3	工房 C110	大原 央聡, 宮坂 慎司	石彫の基礎的な実習を行う。工具鋼の鍛造による鑿の制作から始めて、ハンド工具により大理石や御影石などの中硬度石の制作実習を行う。	
YBF0763	彫刻実習I-B-2	3	1.5	3	秋ABC	金2,3	工房 C110	大原 央聡, 宮坂 慎司	石彫の基礎的な実習を行う。工具鋼の鍛造による鑿の制作から始めて、ハンド工具により大理石や御影石などの中硬度石の制作実習を行う。	「彫刻実習I-B-1」を履修していること
YBF0833	彫刻実習II-A	3	1.5	4	春ABC	木5,6	6A114, 6A115, 工房 C109	大原 央聡	彫刻実習II-Aに引き続き手彫りを主体としながらも一部電動工具も併用し、各種の木材による彫刻表現の可能性を追求する。各自自由に題材を選んで小品を制作することによって、より高度な表現感覚と技術の習練をする。	「彫刻実習I-A-2」を履修済みであること
YBF0843	彫刻実習II-B	3	1.5	4	春ABC	金4,5 集中	工房 C110	大原 央聡, 宮坂 慎司	彫刻実習II-Bに引続いてハンド工具による手彫りを主とした実習を行う。大理石、安山岩(小松石)、御影石、斑瀧岩(黒御影石)などの中ブロック石材により石彫表現の可能性をさぐる。直彫りを第一とするが、併せて星取機やコンパスによる複写法の技術も修得し、石彫表現のより高度な技術と感覚を身につける。	「彫刻実習I-B-2」を履修済みであること

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBF0933	鑄造実習I	3	1.5	3	春ABC	木4,5 集中	6A104, 工房 C112	大原 央聡, 宮坂 慎司	蠟型石膏鑄造法の基本的な原理を理解し、実際に粘土でレリーフ原型を制作し、鑄造の全工程を体験する。これらの制作を通して立体造形とブロンズの素材とのかかわり合いを実感し彫塑の基礎的な感覚と技術を習練する。制作工程の中には、その性質上、時間を振り替えて集中的に行わなければならないことがある。	人数制限あり
YBF0943	鑄造実習II	3	1.5	4	秋ABC	火2,3 集中	6A104, 工房 C112	大原 央聡, 宮坂 慎司	頭像制作・鑄造の演習を通して、ブロンズの素材を生かした彫塑の表現力を養うとともに、中子を有した?型石膏鑄造法の基本的な技法を修得する。制作工程の中には、その性質上、時間を振り替えて集中的に行わなければならないことがある。	鑄造実習Iを履修していること
YBF1023	彫塑特別実習	3	1.0	4					彫塑領域における学習研究の成果を展示を通して総合的に検討する。	彫塑コース・領域対象 2019年度開講せず。
YBF1102	学外演習(彫塑)	2	1.0	3・4	通年	随時		大原 央聡, 宮坂 慎司	現存する歴史的な作品。あるいは、現代彫刻の作品を、実際に訪ねて研究する。また、そのための予備知識としての資料の収集整理及び結果の報告についても演習する。	彫塑コース・領域対象
YBF1233	塑造実習I-A-1	3	1.5	2	春ABC	月4,5	6A110	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。基礎的な形態把握とその表現を第一義とし、一個の塊として対象を把握し表現する能力を養う。人物モデルによる実習制作を通して、観察力を鋭敏にし、大掴みに形態を把握することを主目標とする。	「造形技法実習C彫塑-1,2」の履修者を優先する。人数制限あり。
YBF1243	塑造実習I-A-2	3	1.5	2	秋ABC	月4,5	6A110	大原 央聡, 宮坂 慎司	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。基礎的な形態把握とその表現を第一義とし、一個の塊として対象を把握し表現する能力を養う。人物モデルによる実習制作を通して、観察力を鋭敏にし、大掴みに形態を把握することを主目標とする。	「塑造実習I-A-1」を履修済みのこと。
YBF1253	塑造実習I-B-1	3	1.5	2	春ABC	火2,3	6A110	宮坂 慎司, 大原 央聡	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。基礎的な形態把握とその表現を第一義とし、一個の塊として対象を把握し表現する能力を養う。人物モデルによる実習制作を通して、観察力を鋭敏にし、大掴みに形態を把握することを主目標とする。	「造形技法実習C彫塑-1,2」の履修者を優先する。人数制限あり。
YBF1263	塑造実習I-B-2	3	1.5	2	秋ABC	火2,3	6A110	宮坂 慎司, 大原 央聡	塑造による人体胸像・全身像制作を主とする。基礎的な形態把握とその表現を第一義とし、一個の塊として対象を把握し表現する能力を養う。人物モデルによる実習制作を通して、観察力を鋭敏にし、大掴みに形態を把握することを主目標とする。	「塑造実習I-B-1」を履修済みのこと。
YBF1313	テラコッタ実習	3	1.5	2-4	春ABC	火4,5	5C113	宮坂 慎司, 大原 央聡	テラコッタ技法により塑造制作を行う。手捻法(輪積)による低火度の焼成、型込め法による高温焼成を行う。	
YBF9017	彫塑領域研究I	7	1.0	2					彫塑領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。	2019年度開講せず。
YBF9027	彫塑領域研究II	7	1.0	3					彫塑領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品発表を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	2019年度開講せず。
YBF9037	彫塑領域特別演習I	7	1.0	3					彫塑領域におけるガイダンスを行い、履修方法・カリキュラムに関する検討を行う。作品発表を通して学習研究の成果を総合的に検討する。	彫塑コース・領域対象 2019年度開講せず。
YBF9047	彫塑領域特別演習II	7	1.0	4					彫塑領域における卒業研究の指導を行う。	彫塑コース・領域対象 2019年度開講せず。
YBF9057	彫塑領域特別演習III	7	1.0	4					彫塑領域における卒業研究の指導を行う。	彫塑コース・領域対象 2019年度開講せず。
YBF9908	卒業研究(彫塑領域)	8	6.0	4	通年	随時		大原 央聡, 宮坂 慎司	指導教員の下で専門に関する研究を行い制作と論文にまとめる。	

専門科目(書領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBG0211	書鑑賞論I	1	1.5	2	春ABC	火3	6A405	中村 伸夫	書における鑑賞の重要性を説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	
YBG0221	書鑑賞論II	1	1.5	2	秋ABC	火3	6A405	中村 伸夫	書における鑑賞の重要性を説き、中国・日本における鑑賞行為やその歴史・形態について講述する。	
YBG0311	書学方法論I	1	1.5	3	春ABC	木3	6A405	中村 伸夫	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書等の活用法という側面に主眼を置いてこれを考える。	
YBG0321	書学方法論II	1	1.5	3	秋ABC	木3	6A405	中村 伸夫	中国書法全般にわたる研究方法について、特に文献・工具書等の活用法という側面に主眼を置いてこれを考える。	
YBG0413	書実習基礎I-1	3	1.5	1	春ABC	金4,5	6A405	中村 伸夫, 森岡 隆	漢字と仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の育成をめざす。	
YBG0423	書実習基礎I-2	3	1.5	1	秋ABC	金4,5	6A405	中村 伸夫, 森岡 隆	漢字と仮名の古典的名跡を学び、実作面における基礎力の育成をめざす。	
YBG0543	書実習基礎II-1	3	1.5	2	春ABC	火4,5	6A403	中村 伸夫, 菅野 智明	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	
YBG0553	書実習基礎II-2	3	1.5	2	秋ABC	火4,5	6A403	中村 伸夫, 菅野 智明	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	
YBG0653	書実習漢字制作A-1	3	1.5	2・3					中国書法史上の古典的明遺品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBG0663	書実習漢字制作A-2	3	1.5	2・3					中国書法史上の古典的明遺品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBG0673	書実習漢字制作B-1	3	1.5	2・3	春ABC	木4,5	6A405	中村 伸夫	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦奇数年度開講。
YBG0683	書実習漢字制作B-2	3	1.5	2・3	秋ABC	木4,5	6A405	中村 伸夫	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	西暦奇数年度開講。
YBG0693	書実習漢字制作C-1	3	1.5	4	春ABC	水1,2	6A403	中村 伸夫	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	
YBG0703	書実習漢字制作C-2	3	1.5	4	秋ABC	水1,2	6A403	中村 伸夫	中国書法史上の古典的名品を範本として、漢字書法の基礎的技法を学び、創作への足固めとする。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBG0743	書実習仮名制作A-1	3	1.5	2・3					代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBG0753	書実習仮名制作A-2	3	1.5	2・3					代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBG0763	書実習仮名制作B-1	3	1.5	2・3	春ABC	金3,4	6A404	森岡 隆	代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講。
YBG0773	書実習仮名制作B-2	3	1.5	2・3	秋ABC	金3,4	6A404	森岡 隆	代表的な古筆の臨書・做書を通して仮名技法と構成美を学び、あわせて大字作品への展開を図る。	西暦奇数年度開講。
YBG0783	書実習仮名制作C-1	3	1.5	4	春ABC	木1,2	6A404	森岡 隆	古典を自由に選択することにより、自己の作風の拡充に努める。	
YBG0793	書実習仮名制作C-2	3	1.5	4	秋ABC	木1,2	6A404	森岡 隆	古典を自由に選択することにより、自己の作風の拡充に努める。	
YBG0812	学外演習(書)A	2	1.5	1-4	通年	随時		中村 伸夫, 森岡隆, 菅野 智明	博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書コース対象 西暦奇数年度開講。
YBG0822	学外演習(書)B	2	1.5	1-4					博物館、美術館で書作品などを鑑賞し、教養を深める。	書コース対象 西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBG1511	中国書法史I	1	1.5	2	春ABC	火2	6A405	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する(殷~唐)。	
YBG1521	中国書法史II	1	1.5	2	秋ABC	火2	6A405	菅野 智明	中国の書の変遷について講述する(宋~近代)。	
YBG1611	日本書道史I	1	1.5	3	春ABC	水3	6A404	森岡 隆	日本の書、主として漢字書跡について講述する。	
YBG1621	日本書道史II	1	1.5	3	秋ABC	水3	6A404	森岡 隆	日本の書、主として仮名書跡について講述する。	
YBG3521	専門語学(中国語)B-1	1	1.0	2-4	春AB	木6	6A405	菅野 智明	中国書法史にかかわる基本図書の講読	西暦奇数年度開講。
YBG3621	専門語学(中国語)B-2	1	1.0	2-4	春C秋A	木6	6A405	菅野 智明	中国書法史にかかわる基本図書の講読	西暦奇数年度開講。
YBG3721	専門語学(中国語)B-3	1	1.0	2-4	秋BC	木6	6A405	菅野 智明	中国書法史にかかわる基本図書の講読	西暦奇数年度開講。
YBG9017	書領域研究I	7	1.0	2						2019年度開講せず。
YBG9027	書領域研究II	7	1.0	3						2019年度開講せず。
YBG9037	書領域特別演習I	7	1.0	3					書領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	書領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBG9047	書領域特別演習II	7	1.0	4					書領域における卒業研究の指導を行う。	書領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBG9057	書領域特別演習III	7	1.0	4					書領域における卒業研究の指導を行う。	書領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBG9908	卒業研究(書領域)	8	6.0	4	通年	随時		中村 伸夫, 森岡隆, 菅野 智明	専門に関する研究を行い、制作と論文にまとめる。	

専門科目(クラフト領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y620622	ガラス技法演習	2	1.0	3・4	通年	随時		鄭 然暲	素材(ガラス)の特性を理解した上で、石膏型の様々な原型作成法を習得する。	初回ガイダンスに不参加の場合、履修不可。クラフト基礎実習(ガラス)I・IIを履修済みのこと。平成29,30(西暦2017,18)年度入学者に限る。
Y630802	陶磁演習	2	2.0	4	通年	随時		齋藤 敏寿	素材、技法、プロセス、造形論等、陶磁制作の総合的な演習を行う。	焼成窯管理等自主的に行う事。芸術系棟B-138 齋藤敏寿研究室にて授業を行う。平成30年度以前の入学者に限る。
Y631012	木工演習I	2	1.0	4	通年	随時		宮原 克人	各自がテーマを設定し、木材造形の可能性を探る。	平成30年度以前の入学者に限る。
Y631022	木工演習II	2	1.0	4	通年	随時		宮原 克人	各自のテーマについて探求し、これまで習得した知識と技術を総合的に活用した制作を行う。	平成30年度以前の入学者に限る。
Y632602	クラフト演習I	2	1.0	3・4					クラフト領域の理論と実技を統合し各自のテーマに基づいた演習を行う。	クラフト領域学生は必修。クラフト領域授業成果展などの企画、運営を行う。平成30年度以前の入学者に限る。西暦偶数年度開講。2019年度より2年おき開講。2019年度開講せず。
Y632612	クラフト演習II	2	1.0	3・4	通年	随時		齋藤 敏寿, 宮原克人, 鄭 然暲	クラフト領域の理論と実技を統合し各自のテーマに基づいた演習を行う。	クラフト領域学生は必修。クラフト領域授業成果展の企画、運営を行う。平成30年度以前の入学者に限る。西暦奇数年度開講。2019年度より2年おき開講。
Y633032	ガラス演習	2	2.0	4	通年	随時		鄭 然暲	各自の研究テーマに基づきガラス造形の可能性について総合的な演習を行う。	平成30年度以前の入学者に限る。
Y633042	ガラス技法演習	2	1.0	3・4	通年	随時		鄭 然暲	素材(ガラス)の特性を理解した上で、石膏型の様々な原型作成法を習得する。	初回のガイダンスに不参加の場合、履修不可。クラフト基礎実習(ガラス)I・IIを履修済みのこと。平成28(西暦2016)年度以前の入学者に限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBH0201	木材造形論	1	1.0	2	春AB	火2	5C406	宮原 克人	工芸の分野で従来から活用されてきた造形素材のうち、木と漆を中心に取り上げて概説する。	
YBH0301	工芸特講	1	1.0	1・2	通年	集中			工芸領域での重要な素材と技術について講義する。	掲示を確認し、初期ガイダンスに参加すること 西暦奇数年度開講。
YBH0602	学外演習(工芸領域)	2	1.0	3	通年	随時			美術館、博物館、工房、各種企業などを訪れて見学・演習を行う。	
YBH0712	ガラス基礎演習	2	1.0	2	春A	木2,3	工房 C102	鄭 然暲	サンプル制作を通してガラス素材を扱うための基礎的知識・技術を習得する。	初回授業に不参加の場合履修不可。人数制限あり。
YBH0722	ガラス技術演習	2	2.0	2	秋AB	木2,3	工房 C102	鄭 然暲	キルンキャストに必要の石膏型の取り方を習得する。	ガラス基礎演習を履修済みのこと。時間外に電気炉管理あり。人数制限あり。
YBH0732	ガラス工芸演習	2	4.0	3	春AB	火3-6	工房 C102	鄭 然暲	工芸的観点から生活に関わるガラス食器やアクセサリ等を調査し自らテーマを決めてガラス作品を制作する。	事前説明会に必ず参加すること。クラフト基礎実習(ガラス)I、II、ガラス基礎演習、ガラス技術演習のどれかを履修済みのこと。時間外に電気炉管理あり。人数制限あり。
YBH0742	ガラス造形演習	2	4.0	3	秋AB	火3-6	工房 C102	鄭 然暲	ガラス造形作品について調査を行い、ガラス素材の特徴を最大限に引き出して作品制作を行う。	ガラス工芸演習を履修済みのこと。時間外に電気炉管理あり。
YBH0752	ガラス制作演習	2	1.0	2	春B	木2,3	工房 C102	鄭 然暲	サンプル制作を通してガラス素材を扱うための基礎的知識・技術を習得する。	ガラス基礎演習を履修済みのこと。
YBH0812	木工基礎演習	2	1.0	2	春A	月5,6	工房 C113	宮原 克人	削物技法を用いた作品制作を通して、木工制作の基礎的知識・技術を修得する。	人数制限あり。
YBH0822	木工技術演習	2	2.0	2・3	秋AB	月3,4	工房 C113	宮原 克人	刃物の研ぎ、木工道具の仕立てを通して、木工制作の基礎的知識・技術を修得する。	人数制限あり。
YBH0832	漆芸技法演習	2	2.0	2・3	春AB	火3,4	6B106	宮原 克人	漆芸の基礎的な技術(塗り)を習得する。	人数制限あり。
YBH0842	漆芸制作演習	2	2.0	2・3	秋AB	火3,4	6B106	宮原 克人	漆芸の基礎的な技術(装飾技法)を習得する。	漆芸技法演習を履修済みのこと。人数制限あり。
YBH0852	木材造形演習	2	4.0	3	春AB	月・木 3,4	工房 C101	宮原 克人	木材造形の基本的な知識と加工技術を学びながら、椅子制作の演習を行う。	木工基礎演習、木工技術演習を履修済みのこと。
YBH0862	木工制作演習	2	1.0	2	春B	月5,6	工房 C113	宮原 克人	削物技法を用いた作品制作を通して、木工の基礎的知識・技術を修得する。	人数制限あり。木材基礎演習を履修済みのこと。
YBH0912	陶磁基礎演習	2	1.0	2	春A	月3,4	5C111	齋藤 敏寿	陶磁制作の基礎的知識・技術を修得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。
YBH0922	窯芸技術演習	2	1.0	2・3	春C	木5,6	5C111	齋藤 敏寿	陶磁制作の基礎的知識・技術(特に窯の使用法)を修得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。
YBH0932	ロクロ技法演習	2	2.0	2・3	秋AB	月5,6	5C111	齋藤 敏寿	基礎的なロクロ制作技術を習得する為の演習を行う。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。人数制限あり24名まで。
YBH0942	陶磁造形演習I	2	2.0	3	春AB	木5,6	5C111	齋藤 敏寿	土(粘土)から陶磁へ至る基礎的な技法・技術(石膏型による成形方法)を基に陶磁素材の特長を活かした作品を制作する。	作品の焼成管理を自主的に行うこと。
YBH0952	陶磁造形演習II	2	2.0	3	秋AB	木5,6	5C111	齋藤 敏寿	土(粘土)から陶磁へ至る基礎的な技法・技術・装飾(釉薬研究)を基に陶磁素材の特長を活かした作品を制作する。	
YBH0962	陶磁制作演習	2	1.0	2	春B	月3,4	5C111	齋藤 敏寿	陶磁制作の基礎的知識・技術を修得する。	授業時間以外に窯焼成等(温度管理)の時間を確保できること。陶磁基礎演習を履修済みのこと。
YBH9017	工芸領域研究I	7	1.0	2					授業を通して行った研究や作品制作について、その成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション力や自己の研究を客観的に分析する力を養う。	2019年度開講せず。
YBH9027	工芸領域研究II	7	1.0	3					授業を通して行った研究や作品制作について、その成果を発表する機会を設け、プレゼンテーション力や自己の研究を客観的に分析する力を養う。	2019年度開講せず。
YBH9037	工芸領域特別演習I	7	1.0	3					3年次までの研究成果として作品やプレゼンボード等を制作し、年度末に公開展示する展覧会の企画運営を行う。	工芸領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBH9047	工芸領域特別演習II	7	1.0	4					工芸領域における卒業研究の指導を行う。	工芸領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBH9057	工芸領域特別演習III	7	1.0	4					工芸領域における卒業研究の指導を行う。	工芸領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBH9908	卒業研究(工芸領域)	8	6.0	4	通年	随時		齋藤 敏寿, 宮原 克人, 鄭 然暲	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	新4年生(H28年度入学)者履修可

専門科目(総合造形領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y620212	総合造形創作演習A-I	2	1.5	2	春ABC	火3	5C205	小野 裕子	総合造形の観点から、ドローイング、カラーージュなどによる平面表現から発想を養い、作品制作を行う。	
Y620222	総合造形創作演習A-II	2	1.5	2	春ABC	木4	5C205	小野 裕子	総合造形的な視点を基に、樹脂の素材を中心とした立体造形制作を行う。	2019年度のみ。2020年度より、秋AB 火3,4で開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y620413	総合造形基礎実習Ⅰ	3	1.5	2	春ABC	火5	工房C113	國安 孝昌	総合造形的視点に立って造形の基礎的トレーニングとしての制作を行う。	
Y620423	総合造形基礎実習Ⅱ	3	1.5	2	秋ABC	火5	工房C113	國安 孝昌	総合造形的視点に立って造形の基礎的トレーニングとしての制作を行う。	
Y630312	総合造形表現演習Ⅰ	2	1.5	2・3	春ABC	金4	5C205	國安 孝昌	表現の可能性をさぐる課題制作を各学期ごとのテーマにそって行う。	
Y630322	総合造形表現演習Ⅱ	2	1.5	2・3	秋ABC	金4	5C205	國安 孝昌	表現の可能性をさぐる課題制作を各学期ごとのテーマにそって行う。	
Y630422	総合造形創作演習B	2	1.0	2・3	春AB	木3	5C205	小野 裕子	総合造形的な視点を基に、特殊メイクによる身体造形を行い、その身体を用いて映像と写真による作品制作を行う。	人数制限あり(25名)。
Y630522	展示造形・パフォーマンスⅠ	2	1.5	4	春ABC	水2	5C205	國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	身体による芸術表現としてのパフォーマンスを研究し発表する。	
Y630532	展示造形・パフォーマンスⅡ	2	1.5	4	秋ABC	水2	5C205	國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	身体による芸術表現としてのパフォーマンスを研究し発表する。	
YBJ0101	メディア・アート論	1	1.0	3	春AB	金3	5C205	村上 史明	最先端のテクノロジーを使用した芸術作品の解説を行い、芸術と科学技術との関係について考察する。	
YBJ0111	現代美術論A	1	1.0	3・4	春AB	水3	5C316	國安 孝昌	現代美術入門講座。様々な発展する現代美術の歴史と理論を考察する。	
YBJ0121	現代美術論B	1	1.0	3・4	秋AB	水3	5C316	國安 孝昌	現代美術入門講座。様々な発展する現代美術の歴史と理論を考察する。	
YBJ0602	学外演習(総合造形領域)	2	1.0	3	通年	随時		國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	美術館, 博物館, 工房, 各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	
YBJ0701	インスタレーションアート	1	1.0	3・4	春AB	火2	5C205	小野 裕子	サイトスペシフィックによる芸術表現をリサーチし、場所性を生かした表現を考察する。	2019年度のみ。2020年度より、秋AB 火2で開講。
YBJ1512	メディアアート・プログラミング	2	2.0	2・3	春AB	木3,4	学術情報メディアセンターA203	村上 史明	プログラミングを用いた造形理論及び図形処理技術を学び、インタラクティブアートの制作を行う。	メディアアート・フィジカルコンピューティングと併せて履修すること。
YBJ1522	メディアアート・フィジカルコンピューティング	2	2.0	2・3	秋AB	木3,4	学術情報メディアセンターA203	村上 史明	プログラミングを用いた造形理論及び図形処理技術を学び、インタラクティブアートの制作を行う。	メディアアート・プログラミングと併せて履修すること。
YBJ5412	ハイブリッドアート演習	2	3.0	3・4	秋ABC	金3,4	6A204	村上 史明	異分野の学生同士のコラボレーションにより、映像やインタラクティブアートの要素を含めた、メディアアート作品の提案・制作を行う。	2015年度までの「創造的復興:ハイブリッドアート演習」に相当。
YBJ9017	総合造形領域研究Ⅰ	7	1.0	2					総合造形領域における授業課題の成果物を発表する機会を設け、プレゼンテーション力を養うと共に、自己の研究テーマを探る。	2019年度開講せず。
YBJ9027	総合造形領域研究Ⅱ	7	1.0	3					総合造形領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	2019年度開講せず。
YBJ9037	総合造形領域特別演習Ⅰ	7	1.0	3					総合造形領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	総合造形領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBJ9047	総合造形領域特別演習Ⅱ	7	1.0	4					総合造形領域における卒業研究の指導を行う。	総合造形領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBJ9057	総合造形領域特別演習Ⅲ	7	1.0	4					総合造形領域における卒業研究の指導を行う。	総合造形領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBJ9908	卒業研究(総合造形領域)	8	6.0	4	通年	随時		國安 孝昌, 村上 史明, 小野 裕子	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	新4年生(H28年度入学)者履修可

専門科目(構成領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBK0602	学外演習(構成領域)	2	1.0	3	通年	随時			美術館, 博物館, 工房, 各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	
YBK0901	色彩学	1	1.0	2	春AB	火2	5C213	山本 早里	色彩学の基礎を学ぶ。色が見えるしくみ, 表色系, 心理効果, 調和論などを概説する。	
YBK1101	造形発想論	1	1.0	2	秋AB	木3	5C316	上浦 佑太	発想力を養うために必要な観点について、創作現場の実例や創造性研究に基づいて講義する。造形表現分野における参考事例を中心に取り上げるが、あらゆる分野に共通して役立つ観点として提供する。	
YBK1122	平面構成演習	2	2.0	2	春AB	金5,6	5C203	上浦 佑太	造形表現に共通する要素を、形態・材料・技法の各方面から研究し、主に抽象形態を利用した制作を通じて平面的な構成力を養う。	
YBK1132	立体構成演習	2	2.0	2	秋AB	金5,6	5C203	上浦 佑太	造形表現に共通する要素を、形態・材料・技法の各方面から研究し、主に抽象形態を利用した制作を通じて立体的な構成力を養う。	
YBK1211	造形心理学	1	1.0	2	秋AB	火2	5C216	山本 早里	造形創作および鑑賞の手がかりとして重要な感覚・知覚心理学的知見に関して、視覚を中心に講義する。また、環境心理学にも触れる。	
YBK1232	平面構成総合演習	2	1.0	3	春AB	月5	6A208	上浦 佑太	素材の選択や扱い方に着目して実験的姿勢で平面表現の可能性を追求する展開力を身につける。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBK1332	立体構成総合演習	2	1.0	3	春AB	月6	6A208	上浦 佑太	素材の選択や扱い方に着目して実験的姿勢で立体表現の可能性を追求する展開力を身につける。	
YBK1412	色彩構成演習I	2	1.0	2	春AB	木2	5C203	山本 早里	色彩の科学的システムと感覚的側面からの基礎的な演習を行い、色彩の感情効果とその応用を習得する。	
YBK1422	色彩構成演習II	2	1.0	2	秋AB	木2	5C203	山本 早里	色彩の科学的システムと感覚的側面からの応用的な演習を行い、色彩計画の手法を習得する。環境色彩に関する演習もグループ作業によって行う。	
YBK1512	実験造形演習	2	2.0	3	秋AB	月5,6	6A208	上浦 佑太	素材の選択や扱い方に着目して実験的姿勢で作品制作を行う。年度末に公開展示を行う。	
YBK9017	構成領域研究I	7	1.0	2					構成領域における授業課題の成果物を発表する機会を設け、プレゼンテーション力を養うと共に、自己の研究テーマを探る。	2019年度開講せず。
YBK9027	構成領域研究II	7	1.0	3					構成領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	2019年度開講せず。
YBK9037	構成領域特別演習I	7	1.0	3					構成領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	構成領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBK9047	構成領域特別演習II	7	1.0	4					構成領域における卒業研究の指導を行う。	構成領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBK9057	構成領域特別演習III	7	1.0	4					構成領域における卒業研究の指導を行う。	構成領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBK9908	卒業研究(構成領域)	8	6.0	4	通年	随時			指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	新4年生(H28年度入学)者履修可

専門科目(ビジュアルデザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBL0602	学外演習(ビジュアルデザイン領域)	2	1.0	3	通年	随時			美術館、博物館、工房、各種企業などを訪ねて見学・演習を行う。	
YBL1412	広告デザイン演習	2	1.0	3・4	秋AB	水2	5C203	田中 佐代子	広告デザインに必要な知識、技術、表現力を、演習課題を通して学ぶ。	
YBL1512	ブランディングデザイン演習	2	2.0	3・4	春BC	火5,6	6A208	原 忠信	実践的な制作課題を通じてブランディングデザインの手法と技術を学ぶ。	「ビジュアルデザイン演習A」「ビジュアルデザイン演習B」を履修していること。
YBL1701	画像論	1	1.0	2・3	秋AB	月4	5C316	山本 美希	画像(絵・ピクチャ)の特質、それによる表現・伝達の意義・可能性について、事例を紹介しつつ考える。	2019年度限り。
YBL1712	コンテンツ・フォトグラフィ演習	2	2.0	3	秋AB	火5,6	6A208		アナログとデジタルフォトメディアによる写真撮影への現代的なアプローチを模索する。写真プロセスの知識を身につけ、関心のあるテーマまたはトピックについてのフォトブックを制作します。 We will explore contemporary approaches to photographic practice through analogue and digital photomedia. You will acquire knowledge of processes and produce a photobook about one theme or topic of interest.	
YBL1722	ナラティブイラストレーション演習	2	2.0	2	春AB	月3,4	6A208-1, 6A208-2	山本 美希	複数の画像の連続によって内容を伝達・表現する。ナラティブなイラストレーションについて課題制作を通して学ぶ。	2015年度まで隔年開講だったが2016年度より毎年開講。
YBL1842	印刷・製本演習	2	2.0	3	秋AB	木5,6	工房C203	山本 美希	印刷表現の基礎および洋本ハードカバーなどの造本の基礎について、課題制作を通して学ぶ。	人数制限あり(30名)。H29までの「造本製本演習」の内容を含む。初回ガイダンスに不参加の場合は履修不可。授業時間より作業時間が延長することがあるため、その時間を確保できること。受講希望者が多い場合、ビジュアルデザイン領域の学生・上級生を優先。
YBL1852	ビジュアルストーリー創作演習	2	1.0	3・4	夏季休業中	集中	6A208-1	山本 美希	画像表現によるストーリーの創作方法について、討議や課題制作を通じて学ぶ。物語表現に必要な知識と構成力を身につける。ゼミ形式で参加者のプレゼンテーションと相互の意見交換を重視する。	人数制限あり(25名)。4月のガイダンスに不参加の場合、履修不可。「ナラティブイラストレーションスタジオ」を履修済みであることが望ましい。
YBL1902	ビジュアルデザインシンキング	2	2.0	2	春AB	木5,6	6A208-1, 6A208-2	原 忠信	ビジュアルデザインの実践に必要な発想法やデザイン方法について、ワークショップ・ディスカッション・プレゼンテーションなど参加型の授業にて学習する。	「ビジュアルデザイン概論」を履修した学生に限る。2014年度までの「ビジュアルコミュニケーション論」に相当。
YBL2032	ビジュアルデザイン演習A	2	1.0	2	春AB	金3	5C203	田中 佐代子	ポスターデザインや雑誌表紙デザインの課題制作を通して、ビジュアルデザインの基本を習得する。	
YBL2042	ビジュアルデザイン演習B	2	1.0	2	秋AB	金3	6A208-1, 6A208-2	原 忠信	ビジュアルデザインにおいて、アイデアをカタチにするための方法を実践的課題を通じて学ぶ。	
YBL2112	エディトリアルデザイン演習	2	1.0	3・4	春AB	水2	5C203	田中 佐代子	エディトリアルデザインに必要な知識、技術、表現力を、演習課題を通して学ぶ。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBL2502	グラフィックデザイン特別演習	2	1.0	3・4					学外からデザイナー等を講師として招き、実践的活動を踏まえたグラフィックデザインの発想、制作、評価などについて学ぶ。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBL2912	パッケージデザイン演習	2	1.0	3・4	春A	火5,6	6A208	原 忠信	実践的な制作課題を通じてパッケージデザインの手法と技術を学ぶ。	「ビジュアルデザイン演習A」「ビジュアルデザイン演習B」を履修していること。
YBL5302	サイエンスビジュアルゼーション演習	2	1.0	3・4	夏季休業中	集中	5C513	田中 佐代子	サイエンスを視覚的・効果的に表現することを目的とする。主にAdobe Illustratorを用いてイラストレーションを制作する。	夏季休業中に開講予定。
YBL9017	ビジュアルデザイン領域研究I	7	1.0	2					ビジュアルデザイン領域における授業課題の成果物を発表する機会を設け、プレゼンテーション力を養うと共に、自己の研究テーマを探る。	2019年度開講せず。
YBL9027	ビジュアルデザイン領域研究II	7	1.0	3					ビジュアルデザイン領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	2019年度開講せず。
YBL9037	ビジュアルデザイン領域特別演習I	7	1.0	3					ビジュアルデザイン領域において、各自が設定したテーマに基づいて制作実践および理論研究を進め、その成果を作品やプレゼンボード、レポートなどにまとめる。	ビジュアルデザイン領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBL9047	ビジュアルデザイン領域特別演習II	7	1.0	4					ビジュアルデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	ビジュアルデザイン領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBL9057	ビジュアルデザイン領域特別演習III	7	1.0	4					ビジュアルデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	ビジュアルデザイン領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBL9908	卒業研究(ビジュアルデザイン領域)	8	6.0	4	通年	随時			指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	新4年生(H28年度入学)者履修可

専門科目(情報・プロダクトデザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBN0101	人間工学	1	1.0	2	秋AB	金3	5C506	小山 慎一	デザインの最終的な対象は人間である。人間の基本的性質である、生体構造の特徴、生体や行動計測の方法、生理反応の特徴や環境と人間のインタラクション、などに関して講述し、デザインの基本である人間情報の取り扱い方を学ぶ。	デザイン及び芸術表現を学ぶ学生を対象とするものであり、生理学、解剖学、医学などを専門とする学生は対象としない。
YBN0112	デザイン演習1-A	2	1.0	2					情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	2019年度開講せず。
YBN0212	デザイン演習2-A	2	1.0	2					情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	2019年度開講せず。
YBN0512	デザイン演習5-A	2	1.0	2					情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	2019年度開講せず。
YBN0612	デザイン演習6-A	2	1.0	2					情報・プロダクトデザイン領域の基礎について、課題を通して演習を行う。	2019年度開講せず。
YBN1312	情報・プロダクトデザイン演習1-I	2	1.0	3	春A	金4,5	6A302, 6A303, 6A308	山田 博之	コミュニケーションをキーワードとした課題を設定し、それらをプレゼンテーションするためのモックアップ、プロトタイプ、プレゼンテーションマテリアルの作成を行い、最終日にプレゼンテーションを行う。	
YBN1322	情報・プロダクトデザイン演習1-II	2	1.0	3	春B	金4,5	6A302, 6A303, 6A308	五十嵐 浩也	情報・プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。	
YBN1332	情報・プロダクトデザイン演習2-I	2	3.0	3	春C 夏季休業中	金5,6 随時	6A302, 6A303, 6A308	山中 敏正	情報・プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。	
YBN1342	情報・プロダクトデザイン演習2-II	2	2.0	3	夏季休業中	集中	6A302, 6A303, 6A308	山田 博之	情報・プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。	
YBN1352	情報・プロダクトデザイン演習3-I	2	1.0	3	秋A	金4,5	6A302, 6A303, 6A308	李 昇姫	情報・プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。	
YBN1362	情報・プロダクトデザイン演習3-II	2	1.0	3	秋B	金4,5	6A302, 6A303, 6A308	小山 慎一	情報・プロダクトデザインに関わる特定課題に基づく演習。	
YBN2201	生産システムデザイン学	1	2.0	2・3	春AB秋AB	月3	5C407	小山 慎一, 山中 敏正	ポットのように、機構と情報を併せ持つ人工物をデザインするために、簡単な機構の理解から、「動き」のデザイン、「情報」のデザインについて論及する。さらに、論理のみではなく「感性」と機構の関係について理解を深める。	2011年度以前開講の「感性情報機構論」に相当
YBN2301	感性デザイン学	1	1.0	2	春AB	火3	5C406	李 昇姫	感性は、誰もが持っている前意識的な心の機能であり、理性的な判断の根幹をなすものである。この感性の定義や考え方を含めて、マンマシンインタフェースのデザインに関わる人間の特性や測定と制御の仕組みについて、感性科学および感性工学の研究手法や研究成果をもとにしながら、感性科学によってとらえる方法について学ぶ。さらには、感性の動きに基盤を置くデザインの目的と方法について講述し、人工物の関係をデザインするための感性科学の方法を学ぶ。	2011年度までの「デザインと認知科学」に相当。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBN2414	プロトタイピング基礎	4	1.0	2	春A	火4,5	内山 俊朗		実働するモデル(プロトタイプ)の制作手法の基礎について学ぶ。3DCAD、デジタルファブリケーションツールを用い、実際に使用できるプロトタイプを作る。	芸術専門学群の情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者に限る。総合研究棟D211で行う。
YBN2424	プロトタイピング応用	4	1.0	2	春B	火4,5	内山 俊朗		実働するモデル(プロトタイプ)の製作手法について学ぶ。3DCAD、電子工作、プログラミング、デジタルファブリケーションツールを用い、実際に体験できるプロトタイプを作る。	芸術専門学群の情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者に限る。「プロトタイピング基礎」を履修済みのこと。総合研究棟D211で行う。
YBN2501	生産材料・技術論	1	2.0	2・3	夏季休業中	集中	山田 博之, 赤井 愛		工業デザインにおける量産素材の加工成形技術, 組立, 表面処理技術を、デザインプロセスとともに、史的考察ならびに最新の技術の理解を交えながら講述する。	西暦奇数年度開講。
YBN2511	情報メディア論I	1	1.0	3	春AB	木3	李 昇姫		情報のあり方を理解し、人間と情報との関わりを多様な状況に基づいて考える。情報メディアを用い、情報とプロダクトの関わりを、ビジュアルに限らず、人間の五感と感情、感性に働きかける要素を全て含んだものとし、芸術、デザインにおける新たな情報処理のプロセスや表現方法を提案する。	英語でも可。総合研究棟D306で行う英語で授業。
YBN2514	プログラミング基礎	4	1.0	2	春C	金3,4	山田 博之	学術情報メディアセンター A203	ユーザーインターフェースのプロトタイピングやゲームの制作に必要なプログラミングの基礎を学び、インタラクティブなプログラムの作成方法について学ぶ。課題の制作には Javascript を用いる。	芸術専門学群生に限る。
YBN2521	情報メディア論II	1	1.0	3	秋AB	木3	李 昇姫		情報のあり方を理解し、人間と情報との関わりを多様な状況に基づいて考える。情報メディアを用い、情報とプロダクトの関わりを、ビジュアルに限らず、人間の五感と感情、感性に働きかける要素を全て含んだものとし、芸術、デザインにおける新たな情報処理のプロセスや表現方法を提案する。	英語でも可。総合研究棟D306で行う。英語で授業。
YBN2524	プログラミング応用	4	1.0	2	秋C	金4,5	山田 博之	学術情報メディアセンター A203	オブジェクト指向プログラミングの基礎を学び、スマートフォン上で動作するインタラクティブなゲームプログラムの作成を行う。課題の制作には Javascript を用いる。	芸術専門学群生に限る。「プログラミング基礎」を履修済みのこと。2014年度までの「プログラミング演習」に相当。
YBN2611	デザイン解析論基礎	1	1.0	2	秋ABC	集中	山中 敏正		デザインは、単に直観による表現に留まらず、デザインによる感性価値や社会価値の向上をも達成しなくてはならない。そこで、デザイン情報の体系的な理解のために、データとは何か、調査・計測による客観的なデータの捉え方、データの分析や考察するための手法について学び、デザインプロセスにとって必須である、価値創造の考え方の基盤を養う。	2014年度までの「デザイン解析論」に相当。
YBN2621	デザインイノベーション論	1	1.0	2・3	春AB	金3	5C513 山田 博之		デザインにおけるイノベーションについて事例を通して学習し、プロジェクトマネジメントの観点からデザインを行うためのスキルを養う。	
YBN2631	デザイン解析論応用	1	1.0	3	秋AB	集中	5C301 水谷 奈那美		デザインは、単に直観による表現に留まらず、デザインによる感性価値や社会価値の向上をも達成しなくてはならない。そこで、デザイン情報の体系的な理解のために、データとは何か、調査・計測による客観的なデータの捉え方、データの分析や考察するための手法について学び、デザインプロセスにとって必須である、価値創造の考え方の応用力を養う。	「デザイン解析論基礎」を履修済みのこと。2014年度までの「デザイン解析論」に相当。
YBN2902	ダイナミックインタラクションデザイン演習	2	1.0	2	秋AB	火3	総合研究棟D306 李 昇姫, 村上 史明		情報・プロダクト・メディアアートを融合した、オブジェクトによるインタラクション設計の基礎を習う。センサによるハイテック電子技術や形の素材の仕組みを利用したローテックによるインタラクション設計を同時に行う。	
YBN2912	学外演習(情報・プロダクトデザイン)	2	1.0	3	秋ABC	随時	6A308 五十嵐 浩也, 山中 敏正, 小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之		情報・プロダクトデザインに関する実践的環境について、現場を訪れ、実際のデザイン実務について学ぶことによって、デザインの目的やプロセスを体験的に学ぶ。	
YBN2933	インターンシップ(情報・プロダクトデザイン)	3	1.0	4	秋C	応談	内山 俊朗		情報・プロダクトデザインに関する実践的環境について、現場環境に就いて、実際のデザイン実務について実習する。内外の企業や実践的プロジェクトにおける実習やインターンシップの機会も活用して、デザインの目的やプロセスを体験として修得する。	
YBN3372	デザイン系企業研究	2	3.0	3	秋AB	火4-6	内山 俊朗		情報・プロダクトデザインに関する企業について、情報収集、ディスカッションを行う。また、ポートフォリオを作成する。	総合研究棟D211で行う。
YBN9017	情報・プロダクトデザイン領域研究I	7	1.0	2					情報・プロダクトデザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをと演習指導を行う。	2019年度開講せず。
YBN9027	情報・プロダクトデザイン領域研究II	7	1.0	3					情報・プロダクトデザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをと演習指導を行う。	2019年度開講せず。
YBN9037	情報・プロダクトデザイン領域特別演習I	7	1.0	3					情報・プロダクトデザイン領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	情報・プロダクトデザイン領域の学生に限る2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBN9047	情報・プロダクトデザイン領域特別演習II	7	1.0	4					情報・プロダクトデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	情報・プロダクトデザイン領域の学生に限る2019年度開講せず。
YBN9057	情報・プロダクトデザイン領域特別演習III	7	1.0	4					情報・プロダクトデザイン領域における卒業研究の指導を行う。	情報・プロダクトデザイン領域の学生に限る2019年度開講せず。
YBN9908	卒業研究(情報・プロダクトデザイン領域)	8	6.0	4	通年	随時		五十嵐 浩也, 山中敏正, 小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 山田 博之	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	

専門科目(環境デザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBP0222	デザイン演習2-B	2	1.0	2					小建築と都市公園の計画・設計・表現についての演習。	2019年度開講せず。
YBP0262	デザイン演習6-B	2	1.0	2					環境デザイン、建築デザイン分野の基礎について、関連する各種建築物の設計を含めた広場の課題を通して演習を行う。	2019年度開講せず。
YBP0312	環境デザイン演習1	2	3.0	3	春AB	金4-6	6A302, 6A303, 6A308	野中 勝利	文化施設の建築設計を含む都市公園のデザインに関する計画・設計の演習を行う。	
YBP0322	環境デザイン演習2	2	3.0	3	秋AB	金4-6	6A302, 6A303, 6A308	橋本 剛	自然環境と調和した建築物の計画と設計の演習を行う。具体的な地域を設計対象として取り上げ、その地域の現状・課題・環境デザインのポテンシャルを整理・分析し、自然環境と調和した建築物の計画・設計の提案を行う。	
YBP2922	学外演習(環境デザイン)	2	1.0	3	春C夏季休業中	集中		野中 勝利, 渡 和由, 橋本 剛	学外の著名な環境・建築デザインの現場を訪ね、見学を行い、デザインの過程・現状・文化などを体験的に学ぶ。	
YBP2943	インターンシップ(環境デザイン)	3	1.0	3	秋ABC	随時		橋本 剛	企業やデザイン事務所等において、その専門とするデザインプロセスの実際を体験・習得する。	
YBP3301	都市デザイン論	1	2.0	3	秋AB	木4,5	5C302	野中 勝利	都市や建築にかかわる様々な課題が、近代の都市づくりの中でどのような過程を経てきたのか、そして現代における建築・都市空間の計画とデザインの方法と技術について、国内外の事例の解説を通して、その理論と実践とを講述する。	
YBP3401	ランドスケープデザイン論	1	2.0	3	秋AB	水2,3	5C412		ランドスケープデザインの系譜を学ぶとともに、最新の国内・海外におけるランドスケープデザインやプランニングの実践例を知ることで、自然域から都市域まで様々な場におけるランドスケープの構造・機能・変化過程を適切に理解しデザインする理論を修得する。	
YBP3421	住宅地計画論	1	2.0	3	春AB	月3,4	5C513	渡 和由	住宅地計画に関わる都市・土木・ランドスケープアーキテクチャ・建築・インテリア・マネジメントからの多面的かつ総合的な視点、生活の質を向上させるプレイスメイキングとサイトプランニングの方法論について実例を示しながら講述する。	
YBP9017	環境デザイン領域研究I	7	1.0	2					環境デザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをと演習指導を行う。	2019年度開講せず。
YBP9027	環境デザイン領域研究II	7	1.0	3					環境デザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをと演習指導を行う。	2019年度開講せず。
YBP9037	環境デザイン領域特別演習I	7	1.0	3					環境デザイン領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	環境デザイン領域の学生に限る2019年度開講せず。
YBP9047	環境デザイン領域特別演習II	7	1.0	4					環境デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	環境デザイン領域の学生に限る2019年度開講せず。
YBP9057	環境デザイン領域特別演習III	7	1.0	4					環境デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	環境デザイン領域の学生に限る2019年度開講せず。
YBP9908	卒業研究(環境デザイン領域)	8	6.0	4	通年	随時		野中 勝利, 渡 和由, 橋本 剛	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	

専門科目(建築デザイン領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y711012	デザイン特別演習I	2	2.0	4	春AB	木1,2		五十嵐 浩也, 野中勝利, 花里 俊廣, 山中 敏正, 小山 慎一, 李 昇姫, 内山 俊朗, 貝島 桃代, 橋本 剛, 渡 和由, 山田 博之, 加藤 研, 山田 協太	デザインに係わる諸問題を、卒業研究を進めながら主体的に考察することにより、デザインについての理解を深めることを目的とする。ゼミナール形式の授業において各自の発表とそれに対する討論を基本とする。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y711022	デザイン特別演習2	2	2.0	4	秋AB	木1,2		五十嵐 浩也,野中勝利,花里 俊廣,山中 敏正,小山 慎一,李 昇姫,内山 俊朗,貝島 桃代,橋本 剛,渡 和由,山田 博之,加藤 研,山田 協太	デザインに係わる諸問題を、卒業研究を進めながら主体的に考察することにより、デザインについての理解を深めることを目的とする。ゼミナール形式の授業において各自の発表とそれに対する討論を基本とする。	
YBQ0212	デザイン演習1-B	2	1.0	2					環境・建築の各デザイン分野の基礎について、住宅の設計演習を通じて学ぶ。	2019年度開講せず。
YBQ0252	デザイン演習5-B	2	1.0	2					環境・建築の各デザイン分野の基礎について、小規模施設設計演習を通じて学ぶ。	2019年度開講せず。
YBQ0312	建築デザイン演習1	2	3.0	3	春AB	金4-6	6A302,6A303,6A308	花里 俊廣	集合住宅に関する計画・設計の演習を行う。	
YBQ0322	建築デザイン演習2	2	3.0	3	秋AB	金4-6	6A302,6A303,6A308	加藤 研	公共施設に関する計画・設計の演習を行う。	
YBQ0332	建築デザイン演習3	2	3.0	3	秋C	金4-6 集中	6A302,6A303,6A308	山田 協太	フィールド・ワークに基づき建築の計画・設計を行う。	
YBQ0401	建築史	1	2.0	1-4	春AB	水1,2	5C302	山田 協太	古代から近世にいたる建築史の通説。西洋・東洋・日本における建築を時系列に沿って学ぶとともに、それらの地域を横断し、文化伝播の諸相の一つとしての建築を考える。建築の歴史を学ぶことにより、現代社会に求められる建築文化の新たな視点を見出す。	
YBQ0821	建築材料論	1	2.0	2-4	春AB	水5,6	5C317		建築物を構成する構造材料(コンクリート、木材、鋼材)、仕上げ材料、機能性材料の特性及び使用部位において要求される機能・性能とそれらに呼応する性質を学習する。また、建築材料に関連する建築生産行為全般の最新の話題を取り上げ、建築材料に関する幅広い知識を習得する。	西暦奇数年年度開講。
YBQ2922	学外演習(建築デザイン)	2	1.0	3	通年	集中		花里 俊廣,貝島 桃代,加藤 研,山田 協太	学外の著名な環境・建築デザインの現場を訪ね、見学を行い、デザインの過程・現状・文化などを体験的に学ぶ。	
YBQ2943	インターンシップ(建築デザイン)	3	1.0	3	通年	随時		花里 俊廣	企業やデザイン事務所等において、その専門とするデザインプロセスの実際を体験・習得する。	
YBQ3601	建築設計論	1	2.0	3	通年	集中		貝島 桃代	住宅論、建築論、都市論を題材に、都市や周辺環境への観察を、いかに建築として定着させるかを、建築設計論として考察する。	
YBQ3811	建築環境計画論	1	2.0	3	秋AB	火4,5	5C307	橋本 剛	建築・都市における熱・空気環境、光・視環境、音環境、水環境を対象とした環境計画を行うために必要な基礎的事項を取得し、建築設計・都市計画に応用できるようにする。	Y723821建築設備計画論と併せて履修することが望ましい。
YBQ3821	建築設備計画論	1	2.0	3	春AB	火4,5	5C307	橋本 剛	建築・都市における熱・空気環境、光・視環境、水環境を対象とした設備計画を行うために必要な基礎的事項を取得し、建築設計・都市計画に応用できるようにする。	Y723811建築環境計画論と併せて履修することが望ましい。2019年度限り。
YBQ4001	建築計画論A	1	1.0	3	春AB	火3	5C316	花里 俊廣	建築を計画するのに必要な知識を得るため、建物や場所がどのように機能し、意味を持つのか、人間の行動や社会的側面から考察する。特に、現代の住宅・集合住宅、インテリア、住宅の歴史などに焦点を絞って講述する。	
YBQ4011	建築計画論B	1	1.0	3	春C	火3,4	5C316	花里 俊廣	建築を計画するのに必要な知識を得るため、建物や場所がどのように機能し、意味を持つのか、人間の行動や社会的側面から考察する。特に、環境と行動との関係に焦点を絞り、空間・体験の記述、行動場面、環境認知、建築と時間、環境の評価などについて講述する。	
YBQ4201	建築構法論	1	2.0	3	秋AB	月4,5	5C302	加藤 研	建築空間を実現する上での様々な構法について、代表的な構法である木構造、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造を取り上げ、それぞれの構造材料の特性と空間架構の可能性について講述する。特に現代において様々な試みられている新しい構法の事例についても紹介する。	
YBQ4202	建築構法論演習	2	1.0	3	春C	月3,4	5C307	加藤 研	詳細図の製図を行い、構造・屋根・床・壁・開口部など建築物の各部ディテールの設計方法を習得する。	建築設計を行う授業を履修済で、製図の経験があることが望ましい。
YBQ5011	構造力学	1	2.0	2-4	春C秋A	水5,6	5C317	金久保 利之	建築物の構造解析の基本となる、力のつり合い、反力、静定構造物・不静定構造物の応力、変形、断面の性質、応力度、ひずみ度、座屈の概念および計算方法を学ぶ。	西暦奇数年年度開講。
YBQ5021	構造計画	1	2.0	2-4	秋BC	水5,6	5C317	荒木 康弘	建築種別、構造形式、力の流れ、荷重等を考慮して建築構造計画を立案できる基本的知識を習得させる。実際に構造計画を立て構造計算を行う。	西暦奇数年年度開講。
YBQ9017	建築デザイン領域研究I	7	1.0	2					建築デザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをとり演習指導を行う。	2019年度開講せず。
YBQ9027	建築デザイン領域研究II	7	1.0	3					建築デザイン領域における年次ごとの学習計画についてガイダンスをとり演習指導を行う。	2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBQ9037	建築デザイン領域特別演習I	7	1.0	3					建築デザイン領域における卒業研究に向けた研究計画の指導を行う。	建築デザイン領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBQ9047	建築デザイン領域特別演習II	7	1.0	4					建築デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	建築デザイン領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBQ9057	建築デザイン領域特別演習III	7	1.0	4					建築デザイン領域における卒業研究の指導を行う。	建築デザイン領域の学生に限る 2019年度開講せず。
YBQ9908	卒業研究(建築デザイン領域)	8	6.0	4	通年	随時		花里 俊廣, 貝島 桃代, 山田 協太, 加藤 研	指導教員の下で専門に関する研究を行い論文と制作にまとめる。	

専門科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
Y610511	構成オムニバス講座I	1	1.5	1	通年	随時		國安 孝昌, 齋藤 敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暎, 村上 史明, 山本 美希	構成専攻の諸領域を紹介する意味で, 全教員がそれぞれの研究内容について論じる。	2018年度入学以前の芸術専門学群構成専攻に限る。 主専攻必修科目。
Y610521	構成オムニバス講座II	1	1.5	1	通年	随時		國安 孝昌, 齋藤 敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暎, 村上 史明, 山本 美希	構成専攻の諸領域を紹介する意味で, 全教員がそれぞれの研究内容について論じる。	2018年度入学以前の芸術専門学群構成専攻に限る。 主専攻必修科目。
Y621912	構成特別演習I	2	1.5	3	春ABC 秋A	随時		國安 孝昌, 齋藤 敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暎, 村上 史明, 山本 美希	これまでに修得した構成の理論と実技を総合し, 各自のテーマに基づいた発展的演習を行う。	2018年度入学以前の芸術専門学群構成専攻に限る。 主専攻必修科目。
Y621922	構成特別演習II	2	1.5	3	秋BC	随時		國安 孝昌, 齋藤 敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原 克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦 佑太, 鄭 然暎, 村上 史明, 山本 美希	これまでに修得した構成の理論と実技を総合し, 各自のテーマに基づいた発展的演習を行う。	2018年度入学以前の芸術専門学群構成専攻に限る。 主専攻必修科目。
YBX0011	専門語学(英語)1	1	1.0	2-4	春AB	月6	5C307	パニアニ マフシド	美術に関わる文献の講読。	This class is in English. 英語で授業。
YBX0021	専門語学(英語)2	1	1.0	2-4	秋AB	月6	5C307	パニアニ マフシド	美術に関わる文献の講読。	This class is in English. 英語で授業。
YBX1131	美術論A-1	1	1.0	-					作品制作の理論的基盤となる近現代美術史の特定課題に関する講読。近年の展覧会情報を含む。	2020年度限り 西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBX1141	美術論A-2	1	1.0	-					作品制作の理論的基盤となる近現代美術史の特定課題に関する講読。近年の展覧会情報を含む。	2020年度限り 西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBX1151	美術論B-1	1	1.0	3-4	春AB	月3	5C507	林 みちこ	作品制作の理論的基盤となる近現代美術史の特定課題に関する講読。近年の展覧会情報を含む。	2019年度限り 西暦奇数年度開講。
YBX1161	美術論B-2	1	1.0	3-4	秋AB	月3	5C507	林 みちこ	作品制作の理論的基盤となる近現代美術史の特定課題に関する講読。近年の展覧会情報を含む。	2019年度限り 西暦奇数年度開講。
YBX1331	彫刻史A-I	1	1.0	2-3	春AB	月5	5C317	八木 春生	日本及び東洋彫刻史上の代表的作例を通観しながら、その特質について講読する。	2019年度限り 西暦奇数年度開講。
YBX1341	彫刻史A-II	1	1.0	2-3	秋AB	月5	5C317	八木 春生	日本及び東洋彫刻史上の代表的作例を通観しながら、その特質について講読する。	2019年度限り 西暦奇数年度開講。
YBX2411	芸用解剖学I	1	1.5	-					骨格系, 筋系を中心に身体の形態や構造などについて述べるとともに, それらが体表からどのように観察され, 実際の作例にどのように表現されているかについて解説する。	西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBX2421	芸用解剖学II	1	1.5	-					骨格系, 筋系を中心に身体の形態や構造などについて述べるとともに, それらが体表からどのように観察され, 実際の作例にどのように表現されているかについて解説する。	「芸用解剖学I」を履修済みであること 西暦偶数年度開講 2019年度開講せず。
YBX3202	創造的復興:チャレンジ学外演習I	2	2.0	3	秋AB	随時	6A208-1, 6A208-2	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暎	芸術の視点から立案した地域再生に向けたプランを実施する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得する。	
YBX3602	創造的復興:チャレンジ学外演習II	2	2.0	4	秋AB	随時	6A208-1, 6A208-2	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暎	芸術の視点から立案した地域再生に向けたプランを実施する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点や方法を経験的に習得する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBX3712	アートセラピー入門1	2	1.0	2-4	春ABC	集中	5C203, 5C205	村上 史明	アメリカにおける美術教育と心理学が統合されたアートセラピーを学ぶ。アメリカの大学におけるアートセラピスト養成プログラムで行われているカリキュラムに対応しており、ユング心理学を基礎としたアートセラピーの概要を体験することができる。英語での受講希望者が複数の場合は、教室を分けて日本語と英語で実施する。履修に関する説明会として、4/22(月)と23(火)の11:45-12:10(5C203教室)に説明会を実施するので、履修希望者はどちらかの日程に必ず出席すること(科目等履修生をのぞく)。	日本語もしくは英語による受講可。2019年度のみ開講。 5/19、6/16、7/21、8/11、8/25
YBX3722	アートセラピー入門2	2	1.0	2-4	秋ABC	集中	5C203, 5C205	村上 史明	アメリカにおける美術教育と心理学が統合されたアートセラピーを学ぶ。アメリカの大学におけるアートセラピスト養成プログラムで行われているカリキュラムに対応しており、ユング心理学を基礎としたアートセラピーの概要を体験することができる。英語での受講希望者が複数の場合は、教室を分けて日本語と英語で実施する。履修に関する説明会として、4/22(月)と23(火)の11:45-12:10(5C203教室)に説明会を実施するので、履修希望者はどちらかの日程に必ず出席すること(科目等履修生をのぞく)。	日本語もしくは英語による受講可。2019年度のみ開講。 10/13、11/17、12/15、2020/1/19、2/16
YBX3732	アートセラピー入門3	2	1.0	2-4					アメリカにおける美術教育と心理学が統合されたアートセラピーを学ぶ。アメリカの大学におけるアートセラピスト養成プログラムで行われているカリキュラムに対応しており、ユング心理学を基礎としたアートセラピーの概要を体験することができる。	日本語もしくは英語による受講可。2020年度のみ開講。 2019年度開講せず。
YBX3742	アートセラピー入門4	2	1.0	2-4					アメリカにおける美術教育と心理学が統合されたアートセラピーを学ぶ。アメリカの大学におけるアートセラピスト養成プログラムで行われているカリキュラムに対応しており、ユング心理学を基礎としたアートセラピーの概要を体験することができる。	日本語もしくは英語による受講可。2020年度のみ開講。 2019年度開講せず。
YBX3852	拡張表現スタジオ1-1	2	1.0	1	春A	金3,4	5C203	上浦 佑太	あらゆる造形表現に共通して重要な基礎理論や基礎技法を課題制作を通して身につける。	2019年度入学年度以降の入学者に限る。旧構成基礎演習未修得者読み替えとして履修可。
YBX3862	拡張表現スタジオ1-2	2	1.0	1	春B	金3,4	5C203	原 忠信	欧文タイポグラフィの課題制作を通してデザインシステムの考え方や表現方法を学ぶ。	2019年度入学年度以降の入学者に限る。旧構成基礎演習未修得者読み替えとして履修可。
YBX3872	拡張表現スタジオ1-3	2	1.0	1	秋A	金3,4	5C203	上浦 佑太	あらゆる造形表現に共通して重要な基礎理論や基礎技法を課題制作を通して身につける。	2019年度入学年度以降の入学者に限る。旧構成基礎演習未修得者読み替えとして履修可。
YBX3882	拡張表現スタジオ1-4	2	1.0	1	秋B	金3,4	5C203	田中 佐代子	表現力やデザイン思考を養うための課題制作を通して図解表現、ロゴタイプ表現の基本を習得する。	2019年度入学年度以降の入学者に限る。旧構成基礎演習未修得者読み替えとして履修可。
YBX3902	拡張表現スタジオ2	2	2.0	2	秋ABC	随時	6A208	國安 孝昌, 齋藤敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦佑太, 鄭 然暲, 村上 史明, 山本 美希	拡張表現スタジオのガイダンスとこれまでに各自が行ってきた制作・研究活動のうち主な作品や成果としてポートフォリオを作成し、今後領域別特別演習でさらに研究したい内容についてプレゼンテーションする。	2019年度入学年度以降の入学者に限る。
YBX3912	拡張表現スタジオ3	2	2.0	3	秋ABC	随時	6A208	國安 孝昌, 齋藤敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦佑太, 鄭 然暲, 村上 史明, 山本 美希	3年次までの研究成果として作品やプレゼンボード等を制作し、年度末に展示会を実施する。会期中、VD, 工芸, 構成, 総合造形の4領域の教員が展示に対して講評する。	2019年度入学年度以降の入学者に限る。
YBX3922	拡張表現スタジオ4	2	2.0	4	通年	随時	6A208	國安 孝昌, 齋藤敏寿, 田中 佐代子, 原 忠信, 宮原克人, 山本 早里, 小野 裕子, 上浦佑太, 鄭 然暲, 村上 史明, 山本 美希	「表現の可能性を広げる」という観点において各自の研究内容の位置付けを多方面から検証する。	2019年度入学年度以降の入学者に限る。拡張表現スタジオ3を履修していること。拡張表現スタジオ4-1, 4-2を合わせて履修のこと。
YBX4012	デザイン基礎演習1	2	2.0	1	春A 春B	金5,6	5C206	内山 俊朗	立体造形物の表示並びにプレゼンテーションの基礎についての演習を行う。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者向け専門科目
YBX4022	デザイン基礎演習2	2	2.0	1	秋AB	金5,6	5C206	貝島 桃代	景観に配慮した建築と都市空間の計画・設計・表現の基礎についての演習。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者向け専門科目
YBX4032	デザイン基礎演習1-1	2	1.0	1					立体造形物の表示並びにプレゼンテーションの基礎についての演習を行う。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者向け専門科目 2019年度開講せず。
YBX4042	デザイン基礎演習1-11	2	1.0	1					立体造形物の表示並びにプレゼンテーションの基礎についての演習を行う。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者向け専門科目 2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
YBX4052	デザイン基礎演習2-1	2	1.0	1					景観に配慮した建築と都市空間の計画・設計・表現の基礎についての演習。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者向け専門科目2019年度開講せず。
YBX4062	デザイン基礎演習2-II	2	1.0	1					景観に配慮した建築と都市空間の計画・設計・表現の基礎についての演習。	情報・プロダクト・環境・建築デザイン領域志望者向け専門科目2019年度開講せず。
YBX4102	デザイン演習1	2	1.0	2	春A	木4,5	6A306, 6A308	渡 和由	デザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	
YBX4202	デザイン演習2	2	1.0	2	春B	木4,5	6A306, 6A308	花里 俊廣	デザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	
YBX4302	デザイン演習3	2	1.0	2	春C	木4,5	6A306, 6A308	五十嵐 浩也	デザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	
YBX4402	デザイン演習4	2	1.0	2	秋A	木4,5	6A306, 6A308	山田 博之	「てらす」をキーワードとしたデザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	
YBX4502	デザイン演習5	2	1.0	2	秋B	木4,5	6A306, 6A308	李 昇姫	デザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	
YBX4602	デザイン演習6	2	1.0	2	秋C	木4,5	6A306, 6A308	野中 勝利, 橋本 剛	デザインの実践的課題を設定し、コンセプト立案からモデル試作までのデザイン制作の演習を行う。	
YBX4712	環境・建築デザイン演習	2	3.0	3	春C夏季休業中	金4-6	6A302, 6A303, 6A308	渡 和由, 貝島 桃代	環境・建築の各デザイン分野について、大規模複合施設に関する計画・設計の演習を行う。	
YBX4812	アート・デザインプロデュース演習1	2	1.0	2-4	春AB	応談		渡 和由, 貝島 桃代, 原 忠信, 山田 協太	学生達でチームを組み、複数の教員がプロジェクトを立ち上げ、大学や地域の協働・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を行う。	同演習2、3も併せて履修することが望ましい。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。
YBX4822	アート・デザインプロデュース演習2	2	1.0	2-4	春C秋A	応談		渡 和由, 貝島 桃代, 原 忠信, 山田 協太	学生達でチームを組み、複数の教員がプロジェクトを立ち上げ、大学や地域の協働・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を行う。	同演習1、3も併せて履修することが望ましい。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。
YBX4832	アート・デザインプロデュース演習3	2	1.0	2-4	秋BC	応談		渡 和由, 貝島 桃代, 原 忠信, 山田 協太	学生達でチームを組み、複数の教員がプロジェクトを立ち上げ、大学や地域の協働・依頼者とともに、アート・デザインの手法を使った地域貢献・大学貢献を行う。	同演習1、2も併せて履修することが望ましい。教室は6A308の他、随時教員の指示により他の教室も使用する。オリエンテーションは、4月第3週の水曜18:15より6A308で行う。詳しくは掲示を参照のこと。
YBX4912	デザイン特別演習	2	2.0	4					デザインに係わる諸問題を、卒業研究を進めながら主体的に考察することにより、デザインについての理解を深めることを目的とする。ゼミナール形式の授業において各自の発表とそれに対する討論を基本とする。	2019年度開講せず。
YBX5102	創造的復興:ローカルデザイン演習I	2	2.0	3	春AB	金5,6	6A208-1, 6A208-2	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暉	創造的復興芸術の視点から、地域再生に向けたプランを計画・提案する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点を学習する。	「創造的復興:チャレンジ外演習I」と併せて履修すること。
YBX5502	創造的復興:ローカルデザイン演習II	2	2.0	4	春AB	金5,6	6A208-1, 6A208-2	齋藤 敏寿, 宮原 克人, 原 忠信, 村上 史明, 鄭 然暉	創造的復興芸術の視点から、地域再生に向けたプランを計画・提案する。その中で、歴史・文化的な資源の活用や、地域住民との協力など、創造的復興に必要な視点を学習する。	「創造的復興:チャレンジ外演習II」と併せて履修すること。